

設 計 書

	課 長		課 長 補 佐		課 長 補 佐		係 長		審 査 者		設 計 者	
年 月 日	令和 7 年 月 日						工 事 概 要	施工延長 L=147.9m 道路土工 法面工 縁石工 排水構造物工 構造物撤去工 舗装工 1式 1式 1式 1式 1式 1式				
工 事 番 号	第 号											
河 川 名 路 線 名	柵線											
施 行 位 置	阿久根市 鶴川内 地内											
工 事 名	令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柵線(鶴川内)道路改良工事											
工 期	令和8年3月25日まで	施 行 方 法		直 営 ・ 請 負								
支 出 科 目	年 度	会 計		款		項	目	節				
	区 分		金 額			摘 要						
	設 計 額		円									
其 の 他	当区間は歩道がなく登下校時生徒が危険な状態である。そのため、歩道設置及び現道拡幅を行い安全性及び利便性の向上を図るものである。											

費 用	金 額	備 考
事 業 費	円	
工 事 費	円	
本 工 事 費	円	工事価格 円 消費税 相当額 円
附 帯 工 事 費		
補 償 工 事 費	円	工事価格 円 消費税 相当額 円
用地費 及び 補償費		
換 地 諸 費 又 は 権 利 交 換 諸 費		
事 務 費		
事 務 雑 費		
工 事 雑 費		

工 事 設 計 書		
設計書総括情報		
事 務 所 名	阿久根市	
設 計 書 名	実施設計書	
事 業 名		
積算総括情報		
諸 経 費 体 系	A 公共	
適用単価区分	1 実施単価	
単価適用地区	31 北薩③	
単 価 適 用 日	0 令和 7年 9月 1日	
積算条件／諸経費情報	【 当 世 代 】	【 前 世 代 】
前払率 (%)	4 0 %	
工種	0 4 道路改良	
施工地域	0 6 一般影響有り(2)その他	
現場環境改善費	0 2 計上有り (市街地以外)	
消費税税率	0 4 消費税税率：1 0 %	
契約保証	0 1 金銭的保証を要す	

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
道路改良	レベル 1						Y2E000000
				式			
道路土工	レベル 2						Y2E010000
				式			
掘削工	レベル 3						Y2E010100
				式			
掘削 (土砂)							Y2E010101
				式			
	土砂掘削 (オープンカット) 押土無し 障害無し						SQZ001 0
	5,000m3未満	340		m 3			施工内訳0-0001号表
	基面整正						SQZ014 0
		270		m ²			施工内訳0-0002号表
路体盛土工	レベル 3						Y2E010600
				式			
盛土 (発生土)							Y01010606
				式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 最大埋戻幅1m未満						SQZ016 0
	30	m3				施工内訳0-0003号表
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満						SQZ004 0
	140	m3				施工内訳0-0004号表
残土処理工 レベル3						Y2E010L00
			式			
残土処理						Y2E010L01
			式			
土砂運搬(標準) 運搬距離1.0km超2.0km以下, DID無し 積込:バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)						SQZ002 0
	150	m3				施工内訳0-0005号表
処分費(直工内)						#0042
建設発生土受入料						F0001 0
	150	m3				
法面工 レベル2						Y2E0B0000
			式			
法面整形工 レベル3						Y2E010G00
			式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面整形					Y2E010G01
		式			
切土部法面整形 砂質土、砂及び砂質土、粘性土 現場制約無し	80	m ²			SQZ029 0 施工内訳0-0006号表
盛土部法面整形 砂質土、砂及び砂質土、粘性土 締固め有り，現場制約無し	200	m ²			SQZ029 0 施工内訳0-0007号表
植生工 レベル 3					Y2E0B0100
		式			
張芝					Y2E0B010V
		式			
人工張芝	90	m ²			SQZ032 0 施工内訳0-0008号表
張りコンクリート工 レベル 3					Y2E0S0100
		式			
張りコンクリート工					Y2E0S0101
		式			
張りコンクリート工（防草コンクリート） 人力打設（-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0） 切土部	1	式			S1421 0 施工内訳0-0009号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
縁石工	張りコンクリート工 (防草コンクリート)						S1421 0
	人力打設 (-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0)						
	盛土部	1		式			施工内訳0-0014号表
縁石工	レベル2						Y2E1F0000
				式			
歩車道境界ブロック工	レベル3						Y2E1F0L00
				式			
歩車道境界ブロック工							Y2E100B01
				式			
歩車道境界ブロック設置	C型 本体部 (2.0m/個)						SQ170 0
		17		m			施工内訳0-0016号表
歩車道境界ブロック設置	C型 歩道乗入部						SQ170 0
		3		m			施工内訳0-0017号表
歩車道境界ブロック設置	C型 摺付部						SQ170 0
		1		m			施工内訳0-0018号表
歩車道境界ブロック設置	C型 排水部						SQ170 0
	L=1.0m/個, 50kg以上150kg未満 E=12000	2		m			施工内訳0-0019号表
歩車道境界ブロック設置	D型 エプロンブロック						SQ170 0
	L=2.0m/個, 150kg以上550kg未満 E=12400	126		m			施工内訳0-0020号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
歩車道境界ブロック設置 通常品 B型 本体部 (2.0m/個)					SQ170 0
	109	m			施工内訳0-0021号表
歩車道境界ブロック設置 通常品 B型 車道乗入部					SQ170 0
	4	m			施工内訳0-0022号表
歩車道境界ブロック設置 通常品 B型 摺付部					SQ170 0
	2	m			施工内訳0-0023号表
歩車道境界ブロック設置 B型 排水部 L=1.0m/個, 50kg以上150kg未満 E=10600	11	m			施工内訳0-0024号表
排水構造物工 レベル2					Y2E100000
		式			
横断暗渠工 レベル3					Y2E100B00
		式			
管渠					Y011A100L
		式			
鉄筋コンクリート台付管据付 管径 200~300mm					SQ069 0
	8	m			施工内訳0-0025号表
C=22600					
現場打基礎コンクリート 18-8-20(高炉) 小型車割増無し 基礎碎石無し 一般養生・特殊養生(練炭)	0.2	m3			SQ050 0
					施工内訳0-0026号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝工 レベル 3					Y011A1000
		式			
プレキャストU型側溝					Y011A1001
		式			
プレキャストU型側溝 再利用撤去工 道路用 400×400 (2m) K5補正は適用しない					S7011 0
	46	m			施工内訳0-0027号表
プレキャストU型側溝 流用材設置工 道路用 400×400 (2m)					S7011 0
	46	m			施工内訳0-0028号表
構造物撤去工 レベル 2					Y2E1F0000
		式			
構造物取壊し工 レベル 3					Y2E1F0L00
		式			
コンクリート構造物取壊し					Y2E1F0L01
		式			
構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工 対策 不要					S7031 0
	0.4	m 3			施工内訳0-0029号表
構造物とりこわし工 鉄筋構造物 機械施工 対策 不要					S7031 0
	5	m 3			施工内訳0-0030号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防護柵撤去 (ガードレール)					Y011P0101
		式			
ガードレール撤去工 GR-C-4E (土中建込み用)					S8408 0
	42	m			施工内訳0-0031号表
現場発生品及び支給品運搬 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t DID無し 6.0km超8.5km以下					SQZ207 0
	0.83	t			施工内訳0-0032号表
舗装版取壊し					Y2E1F0L06
		式			
アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下, 障害等無し 振動騒音対策不要 積込作業有り					SQZ184 0
	497	m ²			施工内訳0-0033号表
アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下					SQZ185 0
	148	m			施工内訳0-0034号表
コンクリート取壊し運搬処理					Y2E1F0L1P
		式			
殻運搬コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 運搬距離1.6km超3.3km以下, DID無し 機械積込					SQZ101 0
	5	m ³			施工内訳0-0035号表
殻運搬舗装版破碎 運搬距離6.5km超11.5km以下, DID無し 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)					SQZ101 0
	25	m ³			施工内訳0-0036号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費（直工内）							#0042
産業廃棄物受入料 コンクリート塊（有筋） 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む C=3300							S9910 0 *
		5	m3				施工内訳0-0037号表
産業廃棄物受入料 アスファルト塊（掘削） 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む C=1500							S9910 0 *
		25	m3				施工内訳0-0038号表
舗装 レベル 1							Y2J000000
				式			
舗装工 レベル 2							Y2J0B0000
				式			
アスファルト舗装工 レベル 3							Y2J0B0B00
				式			
下層路盤							Y2J0B0B01
				式			
下層路盤（車道・路肩部） 再生砕石 RC-40 1層施工							SQ150 0
		423	m ²				施工内訳0-0039号表
上層路盤							Y2J0B0B06
				式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	上層路盤（車道・路肩部） 粒調碎石 M-40 2層施工						SQ150 0
		423	m ²				施工内訳0-0040号表
表層							Y2J0B0B0Q
				式			
	表層（車道・路肩部）W=1.4m未満（t≤50mm） t =50mm，密粒度As（再生） 密度 2.35 t /m ³ ，プライムコート PK-3 As合材 200 t 未満/工事（通常時間帯）						SQ155 0
		75	m ²				施工内訳0-0041号表
	表層（車道・路肩部）W=3.0m超 t =50mm，密粒度As（再生） 密度 2.35 t /m ³ ，プライムコート PK-3 As合材 200 t 未満/工事（通常時間帯）						SQ155 0
		348	m ²				施工内訳0-0042号表
歩道舗装工							Y2J0B0B0Q
				式			
	下層路盤（歩道部） 再生碎石 RC-30 1層施工						SQ150 0
		260	m ²				施工内訳0-0043号表
	表層（歩道部）W=1.4m以上 t =40mm，密粒度As（再生） 密度 2.20 t /m ³ ，プライムコート PK-3 As合材 200 t 未満/工事（通常時間帯）						SQ155 0
		261	m ²				施工内訳0-0044号表
直接工事費							
現場環境改善費							Z0010
				式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費（ 率分）						
			式			
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊						
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊						
現場管理費						
			式			
＊ ＊ 現場管理費計 ＊ ＊						
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊						
一般管理費						
			式			
契約保証費						
			式			
＊ ＊ 一般管理費等計 ＊ ＊						

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格							
消費税相当額							
請負工事費				式			
工事価格計							
消費税相当額計							
請負工事費計				式			

土砂掘削（オープンカット）押土無し
障害無し
機械構成比：

SQZ001

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0001号表

5,000m3未満
市場単価構成比：

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 超低騒音・排ガス3次 山積0.8m3			バックホウ 山積0.8m3 クローラ型 [標準型・超低騒音型・排ガス3次]		MC118P
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

土砂掘削（オープンカット）押土無し
障害無し
機械構成比：

SQZ001

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0001号表

5,000m3未満
市場単価構成比：

1
標準単価：

m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)		単 価 (東京地区)	備 考
A=1	土砂			B=1	オープンカット		
C=2	押土無し			D=1	障害無し		
E=3	5,000m3未満			I=1	Ⅱ-1-②-7		

基面整正

SQZ014

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0002号表

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

1

m²

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
普通作業員			普通作業員		R0200
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 Ⅱ-1-㊸-7					

埋戻し
最大埋戻幅1m未満
機械構成比：

SQZ016

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0003号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 超低騒音・排ガス2014年規制 山積0.45m3			バックホウ 山積0.45m3 クローラ型 [後方超小旋回型・排ガス2014]		ME113P
タンパ賃料 60～80kg			タンパ及びランマ 質量60～80kg		T0440
普通作業員			普通作業員		R0200
特殊作業員			特殊作業員		R0100
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400

埋戻し
最大埋戻幅1m未満
機械構成比：

SQZ016

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0003号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
ガソリン			ガソリン レギュラー スタンド		T0001
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=4 最大埋戻幅1m未満			D=1 II-1-③-13		

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比：

SQZ004

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0004号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ賃料 ハンドガイド式, 0.8～1.1 t			振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8～1.1 t		T0388
普通作業員			普通作業員		R0200
特殊作業員			特殊作業員		R0100
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比：

SQZ004

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0004号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 2.5m未満			D=1 II-1-②-22		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			ダンプトラック 10 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1011P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

土砂運搬(標準)

運搬距離1.0km超2.0km以下, DID無し

機械構成比:

労務構成比:

SQZ002

積込: バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)

材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0005号表

1

m3 当り

市場単価構成比:

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=11 1.0km超2.0km以下			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) D=1 無し G=1 II-1-②-13		

切土部法面整形
れ質土、砂及び砂質土、粘性土
機械構成比：

SQZ029
現場制約無し

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0006号表

1
標準単価：
m² 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ賃料 山積0.8 m3			バックホウ クローラ型 山積0.8 m3		T0456
普通作業員			普通作業員		R0200
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002

切土部法面整形
ㄣ質土、砂及び砂質土、粘性土
機械構成比：

労務構成比：

現場制約無し

材料構成比：

SQZ029

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0006号表

1
標準単価：

m² 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=2 切土部 D=2 ㄣ質土、砂及び砂質土、粘性土			C=2 無し E=1 Ⅱ-2-①-4		

盛土部法面整形
れ質土、砂及び砂質土、粘性土
機械構成比：

労務構成比：

SQZ029
締固め有り，現場制約無し
材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0007号表

1
標準単価： m² 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ賃料 山積0.8 m3			バックホウ クローラ型 山積0.8 m3		T0456
普通作業員			普通作業員		R0200
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002

盛土部法面整形
ㄣ質土、砂及び砂質土、粘性土
機械構成比：

労務構成比：

SQZ029
締固め有り，現場制約無し
材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0007号表

1
標準単価： m² 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 盛土部 C=2 無し E=1 II-2-①-4			B=1 有り D=2 ㄣ質土、砂及び砂質土、粘性土		

人工張芝

SQZ032

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0008号表

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：¹ m² 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
普通作業員			普通作業員		R0200
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
人工芝 人工張芝幅 1 0 0 cm			張芝 幅 1 0 0 c m ワラ付		T0013
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

人工張芝

SQZ032

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0008号表

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：¹

代 表 機 労 材 規 格 A=1 Ⅱ-2-①-38	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考

m² 当り

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0009号表

張りコンクリート工（防草コンクリート）
人力打設（ $-1.0 \leq H \leq 1.0$ かつ $W \leq 1.0$ ）
切土部

S1421

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
♪張りコンクリート工（型枠工） 防草コンクリート	3.00	m ²			S1423 施工内訳0-0010号表
♪張りコンクリート工（コンクリート打設） 18-8-20（高炉） 目地材：有り 人力打設（ $-1.0 \leq H \leq 1.0$ かつ $W \leq 1.0$ ）	60.00	m ²			S1424 施工内訳0-0011号表
♪張りコンクリート工（養生） 防草コンクリート	60.00	m ²			S1425 施工内訳0-0013号表
*** 単位当り計 ***	1	式			
A=3 防草コンクリート D=8 人力打設（ $-1.0 \leq H \leq 1.0$ かつ $W \leq 1.0$ ） F=60 コンクリート打設表面積（m ² ）			B=1 無（土工で基面整正を計上） E=3 型枠面積（m ² ） G=50 張りコンクリート平均厚（mm）		
H=1 18-8-20（高炉） K=1 II-4-③-1			I=1 有り		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.43	人			R2500 1
型わく工	0.86	人			R3300 1
普通作業員	0.52	人			R0200 1
諸雑費	12.00	%			#01
*** 合 計 ***	10	㎡			
*** 単位当り計 ***	1	㎡			
A=3 防草コンクリート			B=1	Ⅱ-4-④-4	

施 工 内 訳 表

♪張りコンクリート工（コンクリート打設）

S1424

施工内訳0-0011号表

1 8 - 8 - 2 0 （高炉） 目地材：有り

人力打設（-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0）

100

m²

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.00	人			R2500 1
普通作業員	3.20	人			R0200 1
生コン単価（高炉セメントB） 強度（1 8 - 2 0） スランプ（ 8 cm）	6.05	m3			S1401 施工内訳0-0012号表
諸雑費	3.00	%			#01
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=3 防草コンクリート C=50 コンクリート平均厚（mm） E=1 有り			B=8 人力打設（-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0） D=1 1 8 - 8 - 2 0 （高炉） G=1 II-4-③-1		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
生コンクリート 18－8－20（普通）	1.0	m3			T0921
高炉Bセメント補正	1.0	m3			T0900
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=3 高炉セメント（B） C=2 スランプ（8cm）			B=1 強度（18－20） D=1 公共単価		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.09	人			R2500 1
普通作業員	0.31	人			R0200 1
諸雑費	2.00	%			#01
*** 合 計 ***	100	㎡			
*** 単位当り計 ***	1	㎡			
A=3 防草コンクリート			B=1	Ⅱ-4-④-6	

張りコンクリート工（防草コンクリート）
 人力打設（ $-1.0 \leq H \leq 1.0$ かつ $W \leq 1.0$ ）
 盛土部

S1421

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0014号表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
♪張りコンクリート工（型枠工） 防草コンクリート	6.31	m ²			S1423 施工内訳0-0010号表
♪張りコンクリート工（コンクリート打設） 18-8-20（高炉） 目地材：有り 人力打設（ $-1.0 \leq H \leq 1.0$ かつ $W \leq 1.0$ ）	92.00	m ²			S1424 施工内訳0-0015号表
♪張りコンクリート工（養生） 防草コンクリート	92.00	m ²			S1425 施工内訳0-0013号表
*** 単位当り計 ***	1	式			
A=3 防草コンクリート D=8 人力打設（ $-1.0 \leq H \leq 1.0$ かつ $W \leq 1.0$ ） F=92 コンクリート打設表面積（m ² ）			B=1 無（土工で基面整正を計上） E=6.31 型枠面積（m ² ） G=70 張りコンクリート平均厚（mm）		
H=1 18-8-20（高炉） K=1 II-4-③-1			I=1 有り		

施 工 内 訳 表

♪張りコンクリート工（コンクリート打設）

S1424

施工内訳0-0015号表

1 8 - 8 - 2 0 （高炉） 目地材:有り

人力打設（-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0）

100

m²

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.00	人			R2500 1
普通作業員	3.20	人			R0200 1
生コン単価（高炉セメントB） 強度（1 8 - 2 0） スランプ（ 8 cm）	8.47	m3			S1401 施工内訳0-0012号表
諸雑費	3.00	%			#01
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=3 防草コンクリート C=70 コンクリート平均厚（mm） E=1 有り			B=8 人力打設（-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0） D=1 1 8 - 8 - 2 0 （高炉） G=1 II-4-③-1		

歩車道境界ブロック設置
C型 本体部 (2.0m/個)

SQ170

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0016号表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料 (超小旋回 クレーン付) 山積0.28m ³ 吊能力1.7t	0.021	日			T0454 1
バックホウ賃料 山積0.8m ³	0.003	日			T0456 1
普通作業員	0.043	人			R0200 1
特殊作業員	0.021	人			R0100 1
土木一般世話役	0.019	人			R2500 1
運転手 (特殊)	0.021	人			R1400 1
歩車道境界ブロック (C型) 本体部, 180/240×300×1990mm	0.500	個			T1404 1
再生砕石 (RC-40)	0.049	m ³			T9106 1
軽油	0.685	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m			

施工内訳表

施工内訳0-0016号表

1 m 当り

07-000000000000-40

歩車道境界ブロック設置
C型 歩道乗入部

SQ170

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0017号表

頁0-0038

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料 山積0.8 m3	0.003	日			T0456 1
普通作業員	0.061	人			R0200 1
土木一般世話役	0.029	人			R2500 1
特殊作業員	0.030	人			R0100 1
運転手（特殊）	0.002	人			R1400 1
歩車道境界ブロック（C型） 歩道乗入部，240×120×600mm	1.650	個			T1407 1
再生砕石（RC-40）	0.044	m3			T9106 1
軽油	0.165	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m			
A=1 設置 F=2 RC-40 M=1 IV-2-③-2			B=10 C型 歩道乗入部 H=6 均しコンクリート無し		

歩車道境界ブロック設置
C型 摺付部

SQ170

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0018号表

頁0-0039

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料(後方超小旋回 クレーン付) 山積0.09m3 吊能力0.9t	0.029	日			T0471 1
バックホウ賃料 山積0.8m3	0.003	日			T0456 1
特殊作業員	0.044	人			R0100 1
普通作業員	0.049	人			R0200 1
土木一般世話役	0.022	人			R2500 1
運転手 (特殊)	0.003	人			R1400 1
歩車道境界ブロック (C型) 摺付部, 180/240×160/300×1000mm	0.990	個			T1406 1
再生砕石 (RC-40)	0.049	m3			T9106 1
軽油	0.446	L			T0002 1
** 代表機労材規格 **	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

施工内訳表

1 m 当り

07-000000000000-40

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料(後方超小旋回 クレーン付) 山積0.09m3 吊能力0.9t	0.029	日			T0471 1
バックホウ賃料 山積0.8m3	0.003	日			T0456 1
特殊作業員	0.044	人			R0100 1
普通作業員	0.049	人			R0200 1
土木一般世話役	0.022	人			R2500 1
運転手 (特殊)	0.003	人			R1400 1
歩車道境界ブロック	0.990	個			1
再生砕石 (RC-40)	0.049	m3			T9106 1
軽油	0.446	L			T0002 1
** 代表機労材規格 **	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ 積算単価》	1.00	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

施工内訳表

施工内訳0-0019号表

1 m 当以

歩車道境界ブロック設置

SQ170

L=1.0m/個, 50kg以上150kg未満

E=12000

C型 排水部

[illegible]

施 工 内 訳 表

歩車道境界ブロック設置
D型 エプロンブロック

SQ170

L=2.0m/個, 1 5 0 kg以上 5 5 0 kg未満 E=12400

施工内訳0-0020号表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料 (超小旋回 クレーン付) 山積0.28m ³ 吊能力1.7t	0.021	日			T0454 1
バックホウ賃料 山積0.8m ³	0.003	日			T0456 1
普通作業員	0.043	人			R0200 1
特殊作業員	0.021	人			R0100 1
土木一般世話役	0.019	人			R2500 1
運転手 (特殊)	0.021	人			R1400 1
歩車道境界ブロック	0.500	個			1
再生砕石 (RC-40)	0.049	m ³			T9106 1
軽油	0.685	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m			

施工内訳表

施工内訳0-0020号表

1 m 当り

歩車道境界ブロック設置

SQ170

L=2.0m/個, 150kg以上550kg未満 E=12400

D型 エプロンブロック

[illegible]

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0021号表

SQ170

歩車道境界ブロック設置
通常品 B型 本体部 (2.0m/個)

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料 (超小旋回 クレーン付) 山積0.28m3 吊能力1.7t	0.021	日			T0454 1
普通作業員	0.036	人			R0200 1
土木一般世話役	0.018	人			R2500 1
特殊作業員	0.018	人			R0100 1
運転手 (特殊)	0.018	人			R1400 1
歩車道境界ブロック (B型) 本体部, 180/230×250×1990mm	0.500	個			T1394 1
軽油	0.497	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m			
A=1 設置 C=2 通常品 H=6 均しコンクリート無し			B=2 B型 本体部 (2.0m/個) F=6 基礎砕石無し M=1 IV-2-③-2		

歩車道境界ブロック設置
通常品 B型 車道乗入部

SQ170

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0022号表

頁0-0046

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.054	人			R0200 1
土木一般世話役	0.027	人			R2500 1
特殊作業員	0.027	人			R0100 1
歩車道境界ブロック（B型） 車両乗入部，230×100×600mm	1.650	個			T1398 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ積算単価 》	1.00	m			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	m			
A=1 設置 C=2 通常品 H=6 均しコンクリート無し			B=6 B型 車道乗入部 F=6 基礎碎石無し M=1 IV-2-③-2		

歩車道境界ブロック設置
通常品 B型 摺付部

SQ170

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0023号表

頁0-0047

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料(後方超小旋回 クレーン付) 山積0.09m3 吊能力0.9t	0.029	日			T0471 1
特殊作業員	0.041	人			R0100 1
普通作業員	0.041	人			R0200 1
土木一般世話役	0.020	人			R2500 1
歩車道境界ブロック (B型) 摺付部, 180/230×110/250×1000mm	0.990	個			T1396 1
軽油	0.264	L			T0002 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ 積算単価 》	1.00	m			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	m			
A=1 設置 C=2 通常品 H=6 均しコンクリート無し			B=4 B型 摺付部 F=6 基礎碎石無し M=1 IV-2-③-2		

歩車道境界ブロック設置
B型 排水部

SQ170
L=1.0m/個, 50kg以上150kg未満
E=10600

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0024号表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料(後方超小旋回 クレーン付) 山積0.09m3 吊能力0.9t	0.029	日			T0471 1
特殊作業員	0.041	人			R0100 1
普通作業員	0.041	人			R0200 1
土木一般世話役	0.020	人			R2500 1
歩車道境界ブロック	0.990	個			1
軽油	0.264	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ 積算単価 》	1.00	m			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m			
A=1 設置 D=3 L=1.0m/個, 50kg以上150kg未満 F=6 基礎砕石無し M=1 IV-2-③-2			B=1 各種ブロック E= ブロック単価 [円/個] H=6 均しコンクリート無し		

鉄筋コンクリート台付管据付
管径 200～300mm

SQ069

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0025号表

頁0-0049

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付] 排ガス1次 山積0.45m3 吊能力2.9t	0.055	供用日			MA450P 1
普通作業員	0.040	人			R0200 1
運転手 (特殊)	0.034	人			R1400 1
土木一般世話役	0.020	人			R2500 1
特殊作業員	0.010	人			R0100 1
鉄筋コンクリート台付管	1.001	m			1
軽油	1.798	L			T0002 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ 積算単価 》	1.00	m			E0001
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	m			
A=1 据付 C= 鉄筋コンクリート台付管 単価 [円／m]			B=1 管径 200～300mm D=1 II-2-⑩-18		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料 (クレーン付) 山積0.8 m3, 吊能力2.9 t	0.122	日			T0439 1
普通作業員	0.460	人			R0200 1
型わく工	0.491	人			R3300 1
土木一般世話役	0.240	人			R2500 1
特殊作業員	0.240	人			R0100 1
生コンクリート 18-8-20 (普通)	1.070	m3			T0921 1
高炉Bセメント補正	1.070	m3			T0900 1
軽油	5.009	L			T0002 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ 積算単価 》	1.00	m3			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	m3			
A=3 18-8-20(高炉) E=2 基礎碎石無し G=1 II-2-③-23			C=1 小型車割増無し F=1 一般養生・特殊養生(練炭)		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U型側溝 L=2000 [手間] 1000kg／個以下 時間的制約 無し 昼間単価	10.00	m			TB411
諸雑費	1	式			#10
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=3 撤去（再利用撤去） C=12 道路用 400×400 (2m) H=1 昼間単価 J=1 VI-1-⑥-1			B=2 シラスコンクリート製品以外 D=1 一般的な作業 I=1 無し		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U型側溝 L=2000 [手間] 1000kg／個以下 時間的制約 無し 昼間単価	10.00	m			TB411
再生砕石 (RC-40)	0.76	m ³			T9106
諸雑費	1	式			#10
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=2 布設 (流用材) C=12 道路用 400×400 (2m) E=2 切込砕石 (再生材)			B=2 シラスコンクリート製品以外 D=1 一般的な作業 G=0.63 基礎砕石 数量 (m ³ ／10m)		
H=1 昼間単価 J=1 VI-1-⑥-1			I=1 無し		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工 無筋構造物 [手間] 機械施工 時間的制約 無し 昼間単価	100.00	m 3			TC191
諸雑費	1	式			#20
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り計 ***	1	m 3			
A=1 無筋構造物 C=1 不要 E=1 無し			B=1 機械施工 D=1 昼間単価 F=1 VI-1-④-1		

構造物とりこわし工
鉄筋構造物 機械施工

S7031
対策 不要

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0030号表

100 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工 鉄筋構造物 [手間] 機械施工 時間的制約 無し 昼間単価	100.00	m 3			TC211
諸雑費	1	式			#20
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り計 ***	1	m 3			
A=2 鉄筋構造物 C=1 不要 E=1 無し			B=1 機械施工 D=1 昼間単価 F=1 VI-1-④-1		

ガードレール撤去工
GR-C-4E（土中建込み用）

S8408

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0031号表

頁0-0055

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(ガードレール撤去延長)	100	m			市場単価
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=4 GR-C-4E（土中建込み用） C=1 標準の場合			B=1 標準の場合 D=1 VI-2-③-1		

現場発生品及び支給品運搬
トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t
機械構成比：

SQZ207
DID無し 6.0km超8.5km以下
労務構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0032号表

1
t 当り
標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック [クレーン装置付] 2 t 級 2 . 9 t 吊			トラック [クレーン装置付] 2 t 級 2 . 9 t		M1205P
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
特殊作業員			特殊作業員		R0100
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001

現場発生品及び支給品運搬
トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t
機械構成比：

SQZ207
DID無し 6.0km超8.5km以下
労務構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0032号表

1
t 当り
標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 C=8 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t 6.0km超8.5km以下			B=1 D=1 無し I-2-③-3		

アスファルト舗装版破碎
舗装版厚15cm以下，障害等無し
機械構成比： 労務構成比：

SQZ184
振動騒音対策不要 積込作業有り
材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0033号表

1 m² 当り
標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ賃料(後方超小旋回) 山積0.45m3			バックホウ クローラ型 後方超小旋回型 山積0.45m3		T0478
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
普通作業員			普通作業員		R0200
軽油			軽油 パトロール給油		T0002

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 アスファルト舗装版 C=1 不要 F=1 有り			B=1 無し D=1 15cm以下 G=1 IV-3-②-2		

アスファルト舗装版切断
アスファルト舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0034号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [ハキューム式(超低騒音)・湿式] 切削深20cm級 ブレード径56cm			コンクリートカッター [ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級 ブレードφ56cm		M4737P
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		R0100
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
普通作業員			普通作業員		R0200

アスファルト舗装版切断
アスファルト舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0034号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
その他 (労務)			その他 (労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 4 5 cm			コンクリートカッタ (ブレード) 径 1 8 インチ		T0094
ガソリン			ガソリン レギュラー スタンド		T0001
その他 (材料)			その他 (材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

アスファルト舗装版切断
アスファルト舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0034号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 アスファルト舗装版 E=1 IV-3-③-1			B=1 15cm以下		

殻運搬コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし
運搬距離1.6km超3.3km以下, DID無し
機械構成比: 労務構成比:

SQZ101

機械積込

材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0035号表

標準単価:

1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む			ダンプトラック 10 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1011P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

殻運搬コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし
運搬距離1.6km超3.3km以下, DID無し
機械構成比: 労務構成比:

SQZ101
機械積込
材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0035号表

1
標準単価:
m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=2 C=1 E=1 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 無し II-2-25-1			B=1 D=14 機械積込 1.6km超3.3km以下		

殻運搬舗装版破碎

運搬距離6.5km超11.5km以下, DID無し

機械構成比: 労務構成比:

SQZ101

機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)

材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0036号表

1

m3 当り

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			ダンプトラック 10 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1011P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=3 C=1 E=1 舗装版破碎 無し II-2-25-1			B=3 D=46 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) 6.5km超11.5km以下		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=4 C= コンクリート塊（有筋） 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=1 アスファルト塊（掘削） C= 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0039号表

下層路盤（車道・路肩部）

再生砕石 RC-40

SQ150

1層施工

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モータグレーダ [土工用] 排ガス2次 ブレード幅3. 1 m	0. 001	供用日			MB031P 1
ロードローラ [マカダム] 排ガス2次 質量1 0 t 締固め幅2. 1 m	0. 001	供用日			MB610P 1
タイヤローラ賃料 8～2 0 t	0. 001	日			T0422 1
運転手（特殊）	0. 003	人			R1400 1
特殊作業員	0. 001	人			R0100 1
普通作業員	0. 001	人			R0200 1
土木一般世話役	0. 000	人			R2500 1
再生砕石（R C－4 0）	0. 254	m 3			T9106 1
軽油	0. 119	L			T0002 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ 積算単価 》	1. 00	m ²			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A=1 車道・路肩部 C=200 全仕上り厚 [mm] I=1 IV-1-①-4～11			B=1 下層路盤 G=2 再生砕石 RC-40		

施 工 内 訳 表

頁0-0071

上層路盤（車道・路肩部）

SQ150

施工内訳0-0040号表

粒調碎石 M-40

2層施工

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モータグレーダ [土工用] 排ガス2次 ブレード幅3. 1 m	0. 003	供用日			MB031P 1
ロードローラ [マカダム] 排ガス2次 質量1 0 t 締固め幅2. 1 m	0. 003	供用日			MB610P 1
タイヤローラ賃料 8～2 0 t	0. 003	日			T0422 1
運転手（特殊）	0. 006	人			R1400 1
特殊作業員	0. 002	人			R0100 1
普通作業員	0. 002	人			R0200 1
土木一般世話役	0. 001	人			R2500 1
粒調碎石（M－4 0）	0. 254	m 3			T0512 1
軽油	0. 240	L			T0002 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ 積算単価 》	1. 00	m ²			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	m ²			

07-00000000000-40

阿 久 根 市

上層路盤（車道・路肩部）
粒調碎石 M-40

2層施工

SQ150

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0040号表

頁0-0072

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A=1 車道・路肩部 E=200 全仕上り厚 [mm] I=1 IV-1-①-4～11			B=2 上層路盤 G=6 粒調碎石 M-40		

施 工 内 訳 表

表層(車道・路肩部)W=1.4m未満(t≤50mm)
t =50mm, 密粒度As(再生)

SQ155

密度 2.35 t/m3, プライムコート PK-3

施工内訳0-0041号表

As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯)

1

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5～0.6 t	0.005	供用日			M3505P 1
振動コンパクタ [前進型] 質量40～60 kg	0.011	供用日			M3615P 1
特殊作業員	0.020	人			R0100 1
普通作業員	0.016	人			R0200 1
土木一般世話役	0.004	人			R2500 1
再生アスファルト混合物 密粒度	0.126	t			T9109 1
アスファルト乳剤 PK3・4	0.001	t			T7022 1
ガソリン	0.031	L			T0001 1
軽油	0.006	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m ²			

施 工 内 訳 表

表層(車道・路肩部)W=1.4m未満(t≤50mm)
t=50mm, 密粒度As(再生)

SQ155
密度 2.35 t /m3, プライムコート PK-3

施工内訳0-0041号表
As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯)

1

m²

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A=1 車道・路肩部 C=50 平均厚さ [単位 : mm] E=3 密粒度As(再生)			B=3 表層 D=1 W=1.4m未満(t≤50mm) G=1 締固め後密度 2.35 t /m3(標準)		
H=2 プライムコート PK-3 J=1 通常時間帯			I=2 As合材 200 t 未満/工事 K=1 IV-1-②-2, 8		

施 工 内 訳 表

頁0-0075

表層(車道・路肩部)W=3.0m超
t=50mm, 密粒度As(再生)

SQ155

密度 2.35 t/m³, プライムコート PK-3

施工内訳0-0042号表

As合材 200 t未満/工事(通常時間帯)

1

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトフィニッシャ賃料 ホイール型, 舗装幅2.3~6.0m	0.001	日			T0477 1
ロードローラ賃料 マカダム, 10~12t	0.001	日			T0415 1
タイヤローラ賃料 8~20t	0.001	日			T0422 1
普通作業員	0.003	人			R0200 1
特殊作業員	0.001	人			R0100 1
運転手(特殊)	0.001	人			R1400 1
土木一般世話役	0.000	人			R2500 1
再生アスファルト混合物 密粒度	0.126	t			T9109 1
アスファルト乳剤 PK3・4	0.001	t			T7022 1
軽油	0.064	L			T0002 1
※※ 代表機労材規格 ※※	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			

施 工 内 訳 表

表層(車道・路肩部)W=3.0m超
t =50mm, 密粒度As(再生)

SQ155
密度 2.35 t /m3, プライムコート PK-3

施工内訳0-0042号表
As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯)

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 車道・路肩部 C=50 平均厚さ [単位 : mm] E=3 密粒度As(再生)			B=3 表層 D=4 W=3.0m超 G=1 締固め後密度 2.35 t /m3(標準)		
H=2 プライムコート PK-3 J=1 通常時間帯			I=2 As合材 200 t 未満/工事 K=1 IV-1-②-2, 8		

施 工 内 訳 表

頁0-0077

下層路盤（歩道部）
再生砕石 RC-30

SQ150

施工内訳0-0043号表

1 層施工

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型バックホウ賃料 山積0.11m ³	0.007	日			T0457 1
振動ローラ賃料 搭乗式コンバインド型, 3～4 t	0.006	日			T0431 1
普通作業員	0.010	人			R0200 1
運転手（特殊）	0.008	人			R1400 1
特殊作業員	0.004	人			R0100 1
再生砕石（RC-30）	0.127	m ³			T9105 1
軽油	0.119	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m ²			
A=3 歩道部 D=100 全仕上り厚 [mm] I=1 IV-1-①-4～11			B=1 下層路盤 G=3 再生砕石 RC-30		

施 工 内 訳 表

表層(歩道部)W=1.4m以上
t=40mm, 密粒度As(再生)

SQ155

密度 2.20 t/m³, プライムコート PK-3

施工内訳0-0044号表

As合材 200 t未満/工事(通常時間帯)

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4 ~ 3.0 m	0.002	供用日			M4612P 1
振動ローラ賃料 搭乗式コンバインド型, 3 ~ 4 t	0.002	日			T0431 1
普通作業員	0.005	人			R0200 1
特殊作業員	0.003	人			R0100 1
運転手 (特殊)	0.002	人			R1400 1
土木一般世話役	0.001	人			R2500 1
再生アスファルト混合物 密粒度	0.097	t			T9109 1
アスファルト乳剤 PK 3・4	0.001	t			T7022 1
軽油	0.041	L			T0002 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ 積算単価 》	1.00	m ²			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	m ²			

施工内訳0-0044号表

[illegible]

入力データ一覧表

頁0-0080

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 件 名 称
X1000	＊＊本工事費＊＊			
Y2E000000	道路改良 レベル 1	式		
Y2E010000	道路土工 レベル 2	式		
Y2E010100	掘削工 レベル 3	式		
Y2E010101	掘削（土砂）	式		
SQZ001	土砂掘削（オーブンカット）押土無し 障害無し	340 m ³		A=1, B=1, C=2, D=1, E=3, I=1 A=土砂, B=オーブンカット, C=押土無し, D=障害無し, E=5, 000m ³ 未満, I=Ⅱ-1-②-7
SQZ014	基面整正	270 m ²		A=1 A=Ⅱ-1-③-7
Y2E010600	路体盛土工 レベル 3	式		
Y01010606	盛土（発生土）	式		
SQZ016	埋戻し 最大埋戻幅1m未満	30 m ³		A=4, D=1 A=最大埋戻幅1m未満, D=Ⅱ-1-③-13
SQZ004	路体（築堤）盛土 施工幅員2.5m未満	140 m ³		A=1, D=1 A=2.5m未満, D=Ⅱ-1-②-22
Y2E010L00	残土処理工 レベル 3	式		
Y2E010L01	残土処理	式		
SQZ002	土砂運搬（標準） 運搬距離1.0km超2.0km以下, DID無し	150 m ³		A=1, B=3, C=1, D=1, E=11, G=1 A=標準, B=バックホウ山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）, C=土砂（岩塊・玉石混り土含む）, D=無し, E=1.0km超2.0km以下, G=Ⅱ-1-②-13
#0042	＊処分費（直工内）＊			
F0001	建設発生土受入料	150 m ³		

入力データ一覧表

頁0-0081

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
Y2E0B0000	法面工 レベル 2	式		
Y2E010G00	法面整形工 レベル 3	式		
Y2E010G01	法面整形	式		
SQZ029	切土部法面整形 埴質土、砂及び砂質土、粘性土	80 m ²		A=2, C=2, D=2, E=1 A=切土部, C=無し, D=埴質土、砂及び砂質土、粘性土, E=Ⅱ-2-①-4
SQZ029	盛土部法面整形 埴質土、砂及び砂質土、粘性土	200 m ²		A=1, B=1, C=2, D=2, E=1 A=盛土部, B=有り, C=無し, D=埴質土、砂及び砂質土、粘性土, E=Ⅱ-2-①-4
Y2E0B0100	植生工 レベル 3	式		
Y2E0B010V	張芝	式		
SQZ032	人工張芝	90 m ²		A=1 A=Ⅱ-2-①-38
Y2E0S0100	張りコンクリート工 レベル 3	式		
Y2E0S0101	張りコンクリート工	式		
S1421	張りコンクリート工 (防草コンクリート) 人力打設 (-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0)	1 式		A=3, B=1, D=8, E=3, F=60, G=50, H=1, I=1, K=1 A=防草コンクリート, B=無し (土工で基面整正を計上), D=人力打設 (-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0), E=型枠面積 (m ²), F=コンクリート打設 表面積 (m ²), G=張りコンクリート平均厚 (mm), H=18-8-20 (高炉), I=有り, K=Ⅱ-4-③-1
S1421	張りコンクリート工 (防草コンクリート) 人力打設 (-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0)	1 式		A=3, B=1, D=8, E=6.31, F=92, G=70, H=1, I=1, K=1 A=防草コンクリート, B=無し (土工で基面整正を計上), D=人力打設 (-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0), E=型枠面積 (m ²), F=コンクリート打設 表面積 (m ²), G=張りコンクリート平均厚 (mm), H=18-8-20 (高炉), I=有り, K=Ⅱ-4-③-1
Y2E1F0000	縁石工 レベル 2	式		

入力データ一覧表

頁0-0082

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
Y2E1F0L00	歩車道境界ブロック工 レベル3	式		
Y2E100B01	歩車道境界ブロック工	式		
SQ170	歩車道境界ブロック設置 C型 本体部 (2.0m/個)	17 m		A=1, B=7, F=2, H=6, M=1 A=設置, B=C型 本体部 (2.0m/個), F=RC-40, H=均しコンクリート無し, M=IV-2-③-2
SQ170	歩車道境界ブロック設置 C型 歩道乗入部	3 m		A=1, B=10, F=2, H=6, M=1 A=設置, B=C型 歩道乗入部, F=RC-40, H=均しコンクリート無し, M=IV-2-③-2
SQ170	歩車道境界ブロック設置 C型 摺付部	1 m		A=1, B=9, F=2, H=6, M=1 A=設置, B=C型 摺付部, F=RC-40, H=均しコンクリート無し, M=IV-2-③-2
SQ170	歩車道境界ブロック設置 C型 排水部	2 m		A=1, B=1, D=3, E=, F=2, H=6, M=1 A=設置, B=各種ブロック, D=L=1.0m/個, 50kg以上150kg未満, E=ブロック 単価 [円/個], F=RC-40, H=均しコンクリート無し, M=IV-2-③-2
SQ170	歩車道境界ブロック設置 D型 エプロンブロック	126 m		A=1, B=1, D=4, E=, F=2, H=6, M=1 A=設置, B=各種ブロック, D=L=2.0m/個, 150kg以上550kg未満, E=ブロック 単価 [円/個], F=RC-40, H=均しコンクリート無し, M=IV-2-③-2
SQ170	歩車道境界ブロック設置 通常品 B型 本体部 (2.0m/個)	109 m		A=1, B=2, C=2, F=6, H=6, M=1 A=設置, B=B型 本体部 (2.0m/個), C=通常品, F=基礎砕石無し, H=均しコンクリート無し, M=IV-2-③-2
SQ170	歩車道境界ブロック設置 通常品 B型 車道乗入部	4 m		A=1, B=6, C=2, F=6, H=6, M=1 A=設置, B=B型 車道乗入部, C=通常品, F=基礎砕石無し, H=均しコンクリート無し, M=IV-2-③-2
SQ170	歩車道境界ブロック設置 通常品 B型 摺付部	2 m		A=1, B=4, C=2, F=6, H=6, M=1 A=設置, B=B型 摺付部, C=通常品, F=基礎砕石無し, H=均しコンクリート無し, M=IV-2-③-2
SQ170	歩車道境界ブロック設置 B型 排水部	11 m		A=1, B=1, D=3, E=, F=6, H=6, M=1 A=設置, B=各種ブロック, D=L=1.0m/個, 50kg以上150kg未満, E=

入力データ一覧表

頁0-0083

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
				=ブロック 単価 [円／個] , F=基礎砕石無し, H=均しコンクリート無し, M=IV-2-③-2
Y2E100000	排水構造物工 レベル 2	式		
Y2E100B00	横断暗渠工 レベル 3	式		
Y011A100L	管渠	式		
SQ069	鉄筋コンクリート台付管据付 管径 200～300mm	8 m		A=1, B=1, C=, D=1 A=据付, B=管径 200～300mm, C=鉄筋コンクリート台付管 単価 [円／m] , D=Ⅱ-2-⑩-18
SQ050	現場打基礎コンクリート 18-8-20(高炉) 小型車割増無し	0.2 m ³		A=3, C=1, E=2, F=1, G=1 A=18-8-20(高炉), C=小型車割増無し, E=基礎砕石無し, F=一般養生・ 特殊養生(練炭), G=Ⅱ-2-③-23
Y011A1000	側溝工 レベル 3	式		
Y011A1001	プレキャストU型側溝	式		
S7011	プレキャストU型側溝 再利用撤去工 道路用 400×400 (2m)	46 m		A=3, B=2, C=12, D=1, H=1, I=1, J=1 A=撤去 (再利用撤去) , B=シラスコンクリート製品以外, C=道路用 400×400 (2m) , D=一般的な作業, H=昼間単価, I=無し, J=VI-1-⑥-1
S7011	プレキャストU型側溝 流用材設置工 道路用 400×400 (2m)	46 m		A=2, B=2, C=12, D=1, E=2, G=0.63, H=1, I=1, J=1 A=布設 (流用材) , B=シラスコンクリート製品以外, C=道路用 400×400 (2m) , D=一般的な作業, E=切込砕石 (再生材) , G=基礎砕石 数量 (m ³ ／10m) , H=昼間単価, I=無し, J=VI-1-⑥-1
Y2E1F0000	構造物撤去工 レベル 2	式		
Y2E1F0L00	構造物取壊し工 レベル 3	式		
Y2E1F0L01	コンクリート構造物取壊し	式		
S7031	構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工	0.4 m ³		A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, F=1 A=無筋構造物, B=機械施工, C=不要, D=昼間単価, E=無し, F=VI-1-④-1

入力データ一覧表

頁0-0084

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
S7031	構造物とりこわし工 鉄筋構造物 機械施工	5 m ³		A=2, B=1, C=1, D=1, E=1, F=1 A=鉄筋構造物, B=機械施工, C=不要, D=昼間単価, E=無し, F=VI-1-④-1
Y011P0101	防護柵撤去 (ガードレール)			
S8408	ガードレール撤去工 GR-C-4E (土中建込み用)	42 m		A=4, B=1, C=1, D=1 A=GR-C-4E (土中建込み用), B=標準の場合, C=標準の場合, D=VI-2-③-1
SQZ207	現場発生品及び支給品運搬 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t	0.83 t		A=1, B=1, C=8, D=1 A=トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t, B=無し, C=6.0km超8.5km以下, D= I -2-③-3
Y2E1F0L06	舗装版取壊し			
SQZ184	アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下, 障害等無し	497 m ²		A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1 A=アスファルト舗装版, B=無し, C=不要, D=15cm以下, F=有り, G=IV-3-②-2
SQZ185	アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下	148 m		A=1, B=1, E=1 A=アスファルト舗装版, B=15cm以下, E=IV-3-③-1
Y2E1F0L1P	コンクリート取壊し運搬処理			
SQZ101	殻運搬コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 運搬距離1.6km超3.3km以下, DID無し	5 m ³		A=2, B=1, C=1, D=14, E=1 A=コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし, B=機械積込, C=無し, D=1.6km超3 .3km以下, E=II-2-25-1
SQZ101	殻運搬舗装版破碎 運搬距離6.5km超11.5km以下, DID無し	25 m ³		A=3, B=3, C=1, D=46, E=1 A=舗装版破碎, B=機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下), C=無し, D=6.5km超11.5km以下, E=II-2-25-1
#0042	*処分費 (直工内) *			
S9910	産業廃棄物受入料 コンクリート塊 (有筋)	5 m ³		A=4, B=1, C= A=コンクリート塊 (有筋), B=m ³ 当り, C=受入料金 (円/単位)
S9910	産業廃棄物受入料 アスファルト塊 (掘削)	25 m ³		A=1, B=1, C= A=アスファルト塊 (掘削), B=m ³ 当り, C=受入料金 (円/単位)
Y2J000000	舗装 レベル1			

入力データ一覧表

頁0-0085

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
Y2J0B0000	舗装工 レベル 2	式		
Y2J0B0B00	アスファルト舗装工 レベル 3	式		
Y2J0B0B01	下層路盤	式		
SQ150	下層路盤（車道・路肩部） 再生砕石 RC-40	423 m ²		A=1, B=1, C=200, G=2, I=1 A=車道・路肩部, B=下層路盤, C=全仕上り厚 [mm], G=再生砕石 RC-40, I=IV-1-①-4～11
Y2J0B0B06	上層路盤	式		
SQ150	上層路盤（車道・路肩部） 粒調砕石 M-40	423 m ²		A=1, B=2, E=200, G=6, I=1 A=車道・路肩部, B=上層路盤, E=全仕上り厚 [mm], G=粒調砕石 M-40, I=IV-1-①-4～11
Y2J0B0B0Q	表層	式		
SQ155	表層（車道・路肩部）W=1.4m未満 (t ≤ 50mm) t = 50mm, 密粒度As (再生)	75 m ²		A=1, B=3, C=50, D=1, E=3, G=1, H=2, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位: mm], D=W=1.4m未満 (t ≤ 50mm), E=密粒度As (再生), G=締固め後密度 2.35 t / m ³ (標準), H=プライムコート PK-3, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=IV-1-②-2, 8
SQ155	表層（車道・路肩部）W=3.0m超 t = 50mm, 密粒度As (再生)	348 m ²		A=1, B=3, C=50, D=4, E=3, G=1, H=2, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位: mm], D=W=3.0m超, E=密粒度As (再生), G=締固め後密度 2.35 t / m ³ (標準), H=プライムコート PK-3, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=IV-1-②-2, 8
Y2J0B0B0Q	歩道舗装工	式		
SQ150	下層路盤（歩道部） 再生砕石 RC-30	260 m ²		A=3, B=1, D=100, G=3, I=1 A=歩道部, B=下層路盤, D=全仕上り厚 [mm], G=再生砕石 RC-30, I=IV-1-①-4～11
SQ155	表層（歩道部）W=1.4m以上 t = 40mm, 密粒度As (再生)	261 m ²		A=2, B=3, C=40, D=5, E=3, G=4, H=2, I=2, J=1, K=1 A=歩道部, B=表層, C=平均厚さ [単位: mm], D=W=1.4m以上, E=密粒

入力データ一覧表

頁0-0086

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
				度As(再生), G=締固め後密度 2.20 t/m ³ (標準), H=7°ライムコート PK-3, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=IV-1-②-2, 8
G0000	＊＊直接工事費＊＊			
Z0010	現場環境改善費	式		
Z0050	共通仮設費（率分）	式		
G1000	＊＊共通仮設費計＊＊			
G2000	＊＊純工事費＊＊			
Z0020	現場管理費	式		
G2900	＊＊現場管理費計＊＊			
G4000	＊＊工事原価＊＊			
Z0030	一般管理費	式		
Z0031	契約保証費	式		
G4100	＊＊一般管理費等計＊＊			
G4800	＊＊工事価格＊＊			
Z0038	消費税相当額	式		
G5000	＊＊請負工事費＊＊			
G6000	工事価格計			
Z0039	消費税相当額計	式		
G4900	請負工事費計			

登録単価一覧表

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 (0. 4. 8)	単価 (1. 5. 9)	単価 (2. 6)	単価 (3. 7)	特殊集計	集計区分
F0001	建設発生土受入料	m3	950					

機 材 集 計 表

頁0-0088

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M1011P	191		5.1500	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
2	M1205P	191		0.0664	供用日	トラック [クレーン装置付]	運搬・荷役機械等
3	M3505P	193		0.3750	供用日	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	路盤用・舗装用機械等
4	M3615P	193		0.8250	供用日	振動コンパクタ [前進型]	路盤用・舗装用機械等
5	M4612P	193		0.5220	供用日	アスファルトフィニッシャ [クローラ型]	路盤用・舗装用機械等
6	M4737P	193		1.4800	供用日	コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音)・湿式]	路盤用・舗装用機械等
7	MA450P	190		0.4400	供用日	バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付]	掘削・積込機械等
8	MB031P	193		1.6920	供用日	モータグレーダ [土工用]	路盤用・舗装用機械等
9	MB610P	193		1.6920	供用日	ロードローラ [マカダム]	路盤用・舗装用機械等
10	MC118P	190		3.4000	供用日	バックホウ (クローラ型) [標準型]	掘削・積込機械等
11	ME113P	190		0.6000	供用日	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回]	掘削・積込機械等
12	R0100	202		14.6458	人	特殊作業員	労務単価
13	R0200	202		69.6013	人	普通作業員	労務単価
14	R1400	202		15.1588	人	運転手 (特殊)	労務単価
15	R1500	202		3.1500	人	運転手 (一般)	労務単価
16	R2500	202		9.2491	人	土木一般世話役	労務単価
17	R3300	202		0.8989	人	型わく工	労務単価
18	T0001	221		26.9650	L	ガソリン	3-1 燃料類
19	T0002	221		1,050.2343	L	軽油	3-1 燃料類
20	T0013	278		102.6000	m ²	人工芝	12-1 芝
21	T0094	262		0.0000	枚	コンクリートカッターブレード	9-4 ビット・ロッド
22	T0388	382		4.2000	日	振動ローラ賃料	建設機械賃料
23	T0415	382		0.3480	日	ロードローラ賃料	建設機械賃料
24	T0422	382		2.0400	日	タイヤローラ賃料	建設機械賃料
25	T0431	382		2.0820	日	振動ローラ賃料	建設機械賃料
26	T0439	382		0.0244	日	バックホウ賃料 (クレーン付)	建設機械賃料
27	T0440	382		1.2000	日	タンパ賃料	建設機械賃料
28	T0454	382		5.2920	日	バックホウ賃料 (超小旋回 クレーン付)	建設機械賃料
29	T0456	382		3.2470	日	バックホウ賃料	建設機械賃料
30	T0457	382		1.8200	日	小型バックホウ賃料	建設機械賃料
31	T0471	382		0.4640	日	バックホウ賃料 (後方超小旋回 クレーン付)	建設機械賃料
32	T0477	382		0.3480	日	アスファルトフィニッシャ賃料	建設機械賃料
33	T0478	382		0.0000	日	バックホウ賃料 (後方超小旋回)	建設機械賃料
34	T0512	227		107.4420	m ³	粒調砕石 (M-40)	5-1 地域別石材類
35	T0900	214		11.6364	m ³	高炉Bセメント補正	1-2 生コン補正
36	T0921	215		11.6364	m ³	生コンクリート	1-3 生コンクリート

機 労 材 集 計 表

頁0-0089

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
37	T1394	234		54.5000	個	歩車道境界ブロック (B型)	6-2 道路用コンクリート製品
38	T1396	234		1.9800	個	歩車道境界ブロック (B型)	6-2 道路用コンクリート製品
39	T1398	234		6.6000	個	歩車道境界ブロック (B型)	6-2 道路用コンクリート製品
40	T1404	234		8.5000	個	歩車道境界ブロック (C型)	6-2 道路用コンクリート製品
41	T1406	234		0.9900	個	歩車道境界ブロック (C型)	6-2 道路用コンクリート製品
42	T1407	234		4.9500	個	歩車道境界ブロック (C型)	6-2 道路用コンクリート製品
43	T7022	218		0.6840	t	アスファルト乳剤	2-2 アスファルト乳剤等
44	T9105	230		33.0200	m 3	再生砕石 (RC-30)	5-4 再生砕石
45	T9106	230		118.2240	m 3	再生砕石 (RC-40)	5-4 再生砕石
46	T9109	217		78.6150	t	再生アスファルト混合物	2-1 アスコン合材
47	TB411	402		46.0000	m	U型側溝 L=2000 [手間]	土木工事標準単価 (3)排水構造物工
48	TB411	402		46.0000	m	U型側溝 L=2000 [手間]	土木工事標準単価 (3)排水構造物工
49	TC191	405		0.4000	m 3	構造物とりこわし工 無筋構造物 [手間]	土木工事標準単価 (6)構造物とりこわし工
50	TC211	405		5.0000	m 3	構造物とりこわし工 鉄筋構造物 [手間]	土木工事標準単価 (6)構造物とりこわし工

数量計算表

工 程	項 目		計 算 式 (上段：当初，下段：変更)	数量 上段：当初 下段：変更	設計数量 (上段：当初) (下段：変更)	単位	備 考
	種 別	細 別					
施工延長	防災・安全交付金事業 (柵線)	【No. 0+19. 2～EC. 2】	147. 9	147. 9	147. 9	m	
		計			147. 9	m	
【本工事】							
道路土工	掘削工	土砂掘削（オーブンカット）押土無し 5, 000m3未満	337. 2（土坪計算書にて算出）	337. 2	340	m3	
	作業土工	基面整正	266. 2（土坪計算書にて算出）	266. 2	270	m3	
	路体盛土工	埋戻し 小規模 路体(築堤)盛土 施行幅員2. 5m未満	29. 0（土坪計算書にて算出）	29. 0	30	m3	
	残土処分	土砂運搬（小規模） 運搬距離2. 0km, DID無し	139. 3 + 0. 4（土坪計算書及び構造図3/3にて算出）	139. 7	140	m3	無筋Co殻を一部使用
		バックホウ山積0. 28m3 建設発生土受入料	149. 8（土坪計算書にて算出）	149. 8	150	m3	
法面工	法面工	切土部法面整形	149. 8（土坪計算書にて算出）	149. 8	150	m3	
		現場制約無し	78. 1（土坪計算書にて算出）	78. 1	80	m2	
		盛土部法面整形	203. 6（土坪計算書にて算出）	203. 6	200	m2	
	植生工	締固め有り、現場制約無し	92. 1（土坪計算書にて算出）	92. 1	90	m2	
		張芝工（野芝・高麗芝（全面張）） 100m2未満	92. 1（土坪計算書にて算出）	92. 1	92	m2	
緑石工	歩道境界ブロック工	張りコンクリート工(防草コンクリート) 切土部 人力打設 t=5cm	59. 9（土坪計算書にて算出）	59. 9	60	m2	
		張りコンクリート工(防草コンクリート) 盛土部 人力打設 t=7cm	92. 1（土坪計算書にて算出）	92. 1	92	m2	
		歩道境界ブロック設置 C型 標準部 両面R	17. 0（構造図1/3及び構造図2/3より）	17. 0	17	m	
		歩道境界ブロック設置 C型 歩道乗入部 両面R	3. 1（構造図1/3及び構造図2/3より）	3. 1	3	m	
		歩道境界ブロック設置 C型 摺付部 両面R	1. 0（構造図1/3及び構造図2/3より）	1. 0	1	m	
排水構造物工	横断暗渠工	歩道境界ブロック設置 C型 排水ブロック 両面R	2. 0（構造図1/3及び構造図2/3より）	2. 0	2	m	
		歩道境界ブロック設置 D型 エプロンブロック	126. 1（構造図1/3及び構造図2/3より）	126. 1	126	m	
		歩道境界ブロック設置（エプロンブロック型） B型 標準部 両面R	109. 1（構造図1/3及び構造図2/3より）	109. 1	109	m	
		歩道境界ブロック設置（エプロンブロック型） B型 車道乗入部 両面R	4. 0（構造図1/3及び構造図2/3より）	4. 0	4	m	
		歩道境界ブロック設置（エプロンブロック型） B型 摺付部 両面R	2. 0（構造図1/3及び構造図2/3より）	2. 0	2	m	
構造物撤去工	構造物取壊し工	歩道境界ブロック設置（エプロンブロック型） B型 排水ブロック 両面R	11. 0（構造図1/3及び構造図2/3より）	11. 0	11	m	
		鉄筋コンクリート台付管据付 管径200～300mm	8. 0（平面図及び構造図1/3より）	8. 0	8	m	
		側溝工	フレキヤストU型側溝 再利用撤去工 道路用 450×450（2m）	46. 0（平面図及び構造図1/3より）	46. 0	46	m
			フレキヤストU型側溝 流用材設置工 道路用 450×450（2m）	46. 0（平面図及び構造図1/3より）	46. 0	46	m
						m	
排水構造物工	側溝工	構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工	0. 4（構造図3/3より）	0. 4	0. 4	m3	30cm以下に小割り後 盛土区間に使用
		構造物とりこわし工 鉄筋構造物 機械施工	0. 45 + 4. 98（構造図3/3より）	5. 4	5	m3	
		ガードレール撤去工 GR-C-4E（土中建込み用）	17. 0 + 24. 5（平面図より）	41. 5	42	m	
		現場発生品及び支給品運搬 トラック(クレーン付)2t級 8. 5km以下	41. 5 × 0. 02	0. 83	0. 83	t	
		舗装版取壊し As舗装版破砕 t=5cm	497. 4（土坪計算書にて算出）	497. 4	497	m2	
	舗装版取壊し	As舗装版切断	147. 9（土坪計算書にて算出）	147. 9	148	m	
		運搬処分 Co殻（有筋）運搬 L=1. 7km	0. 5 + 5. 0	5. 4	5	m3	
		舗装版運搬 L=7. 4km t=5. 0cm(As)	497. 4 × 0. 05	24. 8	25	m3	
	産廃処分受入料	産業廃棄物受入料 Co殻（無筋）	0. 5 + 5. 0	5. 4	5	m3	
		産業廃棄物受入料 As殻	497. 4 × 0. 05	24. 8	25	m3	

数量計算表

工種	項 目		計 算 式 (上段：当初，下段：変更)	数量 上段：当初	設計数量 (上段：当初)	単位	備 考
	種 別	細 別		下段：変更	(下段：変更)		
舗装工	アスファルト舗装	下層路盤 RC-40 t=20cm	422.5 (土坪計算書にて算出)	422.5	423	m2	
		上層路盤 M-30 t=20cm	422.5 (土坪計算書にて算出)	422.5	423	m2	
		表層(車道・路肩部) W=1.4m未満 密度2.35t/m3 t=50mm 密粒度(再生) プライムコート	74.8 (土坪計算書にて算出)	74.8	75	m2	
		表層(車道・路肩部) W=3.0m超 密度2.35t/m3 t=50mm 密粒度(再生) プライムコート	347.7 (土坪計算書にて算出)	347.7	348	m2	
		下層路盤 RC-30 t=10cm	259.7 (土坪計算書にて算出)	259.7	260	m2	
	歩道舗装	表層(歩道部) W=1.4m以上 密度2.35t/m3 t=4cm A=16.1m2	261.3 (土坪計算書にて算出)	261.3	261	m2	

積算単価根拠表

工 事 名：令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柵線（鶴川内）道路改良工事
路 線 名：市道柵線
工事場所：阿久根市鶴川内地内

公共事業設計単価
建設物価
積算資料
建設機械等損料算定表

令和7年9月1日
令和7年9月
令和7年9月
令和6年度版

コード 番 号	単価コード 名 称	材質 及び 規格・寸法	単 位	決定単価 (円)	公共単価		建設物価		積算資料		建設機械		見積単価 (円)			見積平均価格 (円)	備 考
					(円)	P	(円)	P	(円)	P	(円)	P	A社	B社	C社		
SQ170 E条件	歩車道境界ブロック設置 C型 排水部	50kg以上150kg未満 L=1000	本										○	○	○		
SQ170 E条件	歩車道境界ブロック設置 D型 エプロンブロック	150kg以上550kg未満 L=2000	本										○	○	○		
SQ170 E条件	歩車道境界ブロック設置 B型 排水部	50kg以上150kg未満 L=1000	本										○	○	○		
SQ069 C条件	鉄筋コンクリート台付管据付 管径 200～300mm	R型 300用 T-25t 2.0m 製品	本			78											
S9910 C条件	産業廃棄物受入料 コンクリート殻（有筋）		m 3														(株)ツカサ
S9910 C条件	産業廃棄物受入料 アスファルト塊（掘削）		m 3														(株)西園機動建設
F0001	建設発生土受入料		m 3														(株)朝日産業

特記仕様書

第1章 総則

(総則)

第1条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

工 事 名：令和7年度 防災・安全交付金事業
市道柊線（鶴川内）道路改良工事
工事場所：市道柊線 阿久根市鶴川内地内

第2条 この工事は、契約図書及び図面によるほか、この特記仕様書ならびに下記仕様書等その他諸法を遵守し施工しなければならない。

なお、本特記仕様書及び共通仕様書、要綱、指針、示方書（最新版）に記載されていない事項で疑義が生じた場合は、別紙「工事打合簿」により監督職員（以下「甲」という。）と協議し、かつその指示に従うこと。

- (1) 土木工事共通仕様書（鹿児島県土木部制定）
- (2) 土木工事施工管理基準（鹿児島県土木部制定）
- (3) 土木請負工事必携（鹿児島県土木部制定）
- (4) 道路事業の手引き（鹿児島県土木部制定）
- (5) コンクリート標準示方書（土木学会制定）
- (6) 建設副産物適正処理推進要綱＜改定＞（国土交通省）
- (7) 土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課）
- (8) その他関係要綱、指針、示方書等

第3条 この工事の契約数量は、別添「本工事内訳書」のとおりとする。

なお、この数量に変更を生じた場合は、甲乙協議のうえ契約変更の対象とする。

ただし、出来形等に係る設計値は図面及び構造物調書のとおりとする。

第4条 契約の保証は、当初請負金額が 500 万円を超える場合、請負金額の 10 分の 1 以上の金銭的保証を要す。

(前払金)

第5条 保証事業会社の保証がなされている請負金額 500 万円以上のものについては、請負金額の 10 分の 4 以内で前払金を請求することができる。

なお、当初設計においては前記の前払金を受けるものとして一般管理費の率を計上してあるが、前払金を受けない場合でも、一般管理費の率は変更の対象としない。

2 次に掲げる要件のいずれにも該当し、前項により前払金の支払いを受けた後、保証事業会社と中間前払金に関する保証がなされたものについては、請負金額の 10 分の 2 以内で中間前払金を請求することができる。

ただし、契約に当たり部分払することを選択した場合は、中間前金払を行わないこととする。さらに、前払金と中間前払金との合計は請負金額の 10 分の 6 を超えないものとする。

- (1) 工期の 2 分の 1 を経過していること。
- (2) 工程表により工期の 2 分の 1 を経過するまでに実施すべきものとされている当該

工事に係る作業が行われていること。

(3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。

3 前金払を請求する場合は、請求書に保証事業会社の保証に係る保証証書を添付して提出しなければならない。

(部分払金)

第6条 部分払は、請負金額が500万円以上の場合、2回まで（既に前払いがなされているときは1回迄）行えるものとする。ただし、中間前金払があるときは、原則として部分払いは行わない。

(工事カルテ作成、登録)

第7条 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成時に工事实績情報として「通知書」を作成し監督職員の確認を受けた上、受注時は契約後10日以内（土、日、祝日等を除く）に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内（土、日、祝日等を除く）に、完成時は工事完成後10日以内（土、日、祝日等を除く）に（財）日本建設情報総合センターに登録しなければならない。

変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

また、登録完了後は、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

(電子納品)

第8条 本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「阿久根市電子納品ガイドライン（案）（令和4年1月）：（以下「ガイドライン」という。）」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

【阿久根市ウェブサイト】

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 土木・建築・交通 > 電子納品

2 ガイドラインに基づき作成した電子成果品は、電子媒体で正本・副本各1部の計2部提出する。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定する。

(技術者)

第9条 請負者は、測量・調査・施工管理・検査のために専属して経験のある技術者を常置し、監督職員の指示に応じなければならない。

(監理技術者等の専任を要しない期間)

第10条 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、打合せ記録簿により明確となっていることを条件に、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにお

いて定めること。

- 2 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「工事目的物引受書」等における日付）とする。

（配置技術者等の途中交代）

第11条 配置技術者の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。

- (1) 請負者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合
 - (2) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点
- 2 前1項の場合にあっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

（現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合）

第12条 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合に、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や現場保全の義務（現場の巡回等）があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。

- (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - (2) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間
 - (3) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。また、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の現場代理人が、これらの製作を一括して運営、取締りを行うことができるものとする。
 - (4) 前3号に掲げる期間のほか、請負者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間
- 2 発注者への報告
前1項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。

第13条 現場代理人の兼任

- 1 現場代理人の兼任を認める工事

現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約の解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次の(1)から(5)のすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

また、主たる工種が区画線工事の場合、次の(1)、(2)及び(6)の全てを満たし、工事現場

における運営、取り締まり及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合は工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、専任の主任（監理）技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、(2)、(4)、(5)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。

- (1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円*未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円*以上となり、各々の工事における主任（監理）技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。
- (2) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること。
- (3) 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。
- (4) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。
- (5) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。
- (6) 兼任する現場代理人は、必ず担当する工事現場のいずれに常駐するとともに、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。

※ 建築一式工事は、9,000万円

2 手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、「兼任（変更）申請書」（別紙1）を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等選任（変更）通知書」により、発注者に通知すること。

なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

3 受注者に対する措置請求

安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置をとるべきことを請求するものとする。

（施工体制台帳の作成等について）

第14条 本工事の請負者は、建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

（施工体系図の作成等について）

第15条 本工事の請負者は、工事を施工するために、建設工事の一部または以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事または業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

- イ 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務
- ウ 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務
- エ その他監督職員が記載を指示した業務等

第2章 工事の施工

（国土調査の基準点等測量標識等の保全）

第16条 施工区域内に国土調査の基準点等測量標識等がある場合は、その取り扱いについて監督職員に指示を仰ぐとともに、施工前に設置者と協議すること。

第17条 床掘及び切土

切土の法勾配は、設計図書に示した法勾配で仕上げるものとする。監督職員の承認を受けないで、切りすぎた土量の増については、変更契約の対象にしない。

第18条 盛土及び埋戻

- 1 盛土は常に肩下がりの横断形を保ち、土羽工を先行してはならない。
- 2 盛土施工中は、常に雨水等による土砂流出を起こさないよう、排水処理を考慮し施工すること。
- 3 埋戻前に漏水等がある場合は、必ず排水した後に、埋戻しをしなければならない。

第19条 コンクリート工

コンクリートは下記のとおりとする。

種別	基準強度	スランプ	最大粒径	使用箇所
高炉セメント B種	18N/mm ²	8±2.5cm	20mm	張りコンクリート工 基礎コンクリート

第20条 本工事の施工にあたっての施工条件を下記に明示するので、請負者は、施工計画書の作成及び工事施工時において、十分留意するものとする。

なお、明示した施工条件に変更が生じた場合は、契約変更の対象とする。また、工事実施期間中に発生した施工条件についても、甲・乙協議し契約変更の対象とする。

- 1 工事着手前に地元区長及び地域住民に対して周知を図るとともに、全面通行止めとする場合は、事前に迂回路を表示した看板を設置すること

（管内（県内）建設業者の優先使用）

第21条 請負業者は、工事の一部を下請けに付する場合は、北薩地域振興局管内に主たる営業所を有する者を使用するよう努めることとする。

- 2 請負業者は、前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。
- 3 請負業者は、工事完成時及び監督員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督員に提出すること。

（県産資材の優先使用について）

第22条 工事に使用する資材については、県内で産出、生産または製造されたもの（以下「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。

再生切込砕石については、原則として、かごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再生切込砕石 (かごしま認定リサイクル製品)	RC-30, RC-40	上層路盤 下層路盤 基礎砕石他

第23条 再生資源利用計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場合に掲げなければならない。

第24条 工事等の施工にあたって要する物品等の調達について

- 1 資材、機械の購入や借入れ等をする場合は、可能な限り阿久根市内業者を優先して活用すること。
- 2 建設現場内における飲食のほか、現場事務所内で必要とされる事務用品等の購入は可能な限り阿久根市内業者から購入すること。

第25条 本工事は建設リサイクル法に規定されている特定建設資材及び特定建設資材廃棄物が含まれているので、適正な措置を講ずること。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

①分別解体等の方法

(参考)

工 程 毎 の 作 業 内 容 ・ 解 体 方 法	工 程	作業内容	分別解体等の方法（＊）
	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

＊「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離
コンクリート	㈱ツカサ	阿久根市鶴川内	L=1.7km
アスファルト	㈱西園機動建設	出水市野田町	L=7.4km

＊上記②については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

(建設副産物の処理)

第26条 建設工事の施工により発生する指定副産物（コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、汚泥等、（建設発生土は除く））のうち、コンクリート殻（無筋）については30 cm以下に小割りして盛土区間で使用すること。その他については再資源化施設へ搬出すること。また、運搬に先立っては受け入れ条件等を確認し、発注者に報告するものとする。

なお、積算に際しては、下記の条件により積算している。

(1) 受入場所：鹿児島県阿久根市鶴川内 ㈱ツカサ

(2) 受入れ時間帯：9時00分～17時00分

コンクリート殻

(1) 受入場所：鹿児島県出水市野田町 ㈱西園機動建設

(2) 受入れ時間帯：8時00分～17時00分

アスファルト殻

2 再生資材の利用

請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再生加熱アスファルト混合物	密粒度As	表層
〃	RC-30、40	路盤工及び基礎工

なお、使用に際し、「プラント再生舗装技術指針」等を遵守すること。

3 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

第27条 再生資源利用促進計画

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設発生汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第28条 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出

本工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録（E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表(別添様式1)）を工事完成図書に添付す

ること。

なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。

ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。

(産業廃棄物税)

第29条 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

(建設発生土の処理)

第30条 本工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

- (1) 受入場所の名称：(株)朝日産業
 - (2) 受入場所の所在地：出水市野田町上名
 - (3) 受入時間帯：8時30分～17時00分
 - (4) 仮置き等：必要な場合は、その場所を明示する。
 - (5) 搬出土の土質：砂質土質
 - (6) 搬出土量：約340m³
 - (7) 搬出距離、時間：2.0km（片道）、約3分
- 2 「再生資源利用促進計画書」を作成し、施工計画書に含めて提出するとともにその内容を発注者に説明すること。
 - 3 再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲げること。
 - 4 再生資源利用促進計画の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに変更し、その内容を発注者に報告すること。
 - 5 工事完成後、速やかに再生資源利用促進計画の実施状況の記録及び「建設発生土受領書」を完成書類に含めて提出すること。
 - 6 再生資源利用促進計画及びその実施状況の記録を工事の完成後5年間保存すること。
 - 7 土質試験が必要な場合は、試験項目や回数について搬出先と双方協議し決定すること。
 - 8 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

(過積載等の防止)

第31条 ダンプトラック等による過積載等の防止について以下のことを遵守すること。

- (1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
- (4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
- (5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下法という）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。

- (7) 第1号から第6号のことにつき、下請契約における請負者を指導すること。

第3章 その他

(暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置)

第32条 阿久根市が発注する建設工事等（以下「市工事等」という。）において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく市（発注者）及び警察に通報すること。市工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、市（発注者）と協議を行うこと。

(ヤンバルトサカヤスデのまん延防止)

第33条 ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、別添「ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について」を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、棲息状況等の調査を行い、監督職員に報告すること。

(工事現場の現場環境改善の実施)

第34条 工事現場の現場環境改善は、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつそこで働く関係者の意識を高めるとともに、関係者の作業環境を整えることにより公共事業の円滑な執行に資することを目的とするものである。よって、請負者は施工に際し、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事を実施するものとする。

- 2 現場環境改善の内容については、[別表－1]の内容のうち原則として各費目ごと（仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域とのコミュニケーション）に1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5項目以上を実施するものとする。
- 3 現場環境改善においては、木製資材の積極的な使用に努めること。
- 4 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について、施工計画書に含め提出するものとする。
- 5 工事完了時には、現場環境改善の実施写真を提出するものとする。
- 6 工期設定に関しては、現場環境改善の準備に必要な期間を考慮するものとする。

(建設現場における「快適トイレ」設置の試行について)

第35条 「快適トイレ」設置について

本工事は、阿久根市の建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。

快適トイレを設置する場合は、『阿久根市の建設現場における「快適トイレ」設置の試行要領』に基づき行うものとする。なお、試行要領は阿久根市ホームページから取得できる。

(週休2日)

第36条 本工事は、「週休2日」試行工事（受注者希望型）の対象である。

- 2 試行に当たっては、『「週休2日」試行工事実施要領』に基づき行うものとする。
- 3 実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。

(工期等の取扱いについて)

第37条 本工事は、繰越しを予定しており、完了工期については、議会承認が得られた場合に変更契約を行うものとする。

2 繰越承認後の完了工期は、185 日間を予定している。

3 「工事標示板」等に工期を標示する場合は、監督職員と協議の上、当初は前項の工期を考慮した完了予定工期に「(予定)」を付して標示するものとし、契約変更後速やかに変更後の工期に訂正するものとする。

(環境改善実施要領について)

第38条 本工事の実施にあたっては、「環境改善実施要領（工事現場編）」に基づき、受発注者相互に協力し、取り組むものとする。

[別表－１]

計上費目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女子更衣室の設置を含む） 2. 労働宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘導警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等）
地域とのコミュニケーション	1. 完成予想図 2. 工法説明図 3. 工事行程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献

【別添】

ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について

1 土・樹木等の措置

(1) 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。

(2) 廃棄樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱いが可能な焼却施設で焼却処理する。

一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間の焼却施設

産業廃棄物：業の許可を有している民間の焼却施設（産業廃棄物税が発生します。）

2 工事区域周辺部の措置

周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。

3 やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置

(1) 薬剤処理・薫蒸処理後、搬出する。

(2) 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は、付着土壌の除去、目視除去後、搬出する。

4 発生地区に搬入した建設機材や農・林業工作機械の措置

付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。

5 未発生地区での措置

発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記１～３の措置が講じられているかを確認する。

※奄美群島以外でヤンバルトサカヤスデの発生が確認されている地区

H 1 1：南九州市（旧穎娃町、旧知覧町）、

H 1 4：指宿市（旧山川町）、屋久島町（旧屋久町）

H 1 5：鹿児島市（旧吉田町）、日置市（旧吹上町）、枕崎市

H 1 6：鹿児島市

H 1 7：指宿市

H 2 2：出水市、南さつま市

H 2 5：霧島市、阿久根市

H 2 6：鹿屋市、姶良市

H 2 9：長島町

R 0 3：西之表市、中種子町、錦江町

R 0 4：肝付町、薩摩川内市、いちき串木野市、南大隅町

R 0 6：大崎町

R 0 7：志布志市

(別紙報告書)

安全・訓練等の実施状況報告書

[illegible]

(別紙 1)

工 事 打 合 簿

[illegible]

課長	技術 補佐	総 括 監督員	監督員

現 場 代理人	主 任 技術者

材料使用承認願	
<u>工 事 名</u>	<u>請 負 業 者 名</u>
<u>工 期</u>	<u>現 場 代 理 人</u>
<u>路線（河川名）</u>	<u>総 括 監 督 員</u>
<u>工 事 箇 所 名</u>	<u>監 督 員</u>

請負業者名

現場代理人 _____

總 括 監 督 員

監 督 員 _____

[illegible]

別紙 1

令和 年 月 日

契約担当者

殿

請負者
商号又は名称
代表者の氏名

現場代理人の兼任（変更）申請書

下記工事について、現場代理人を兼任したいので（変更）申請します。
なお、両工事の施工に当たっては、関係法令等を遵守し、安全管理及び工程管理に留意します。

記

①兼任する工事 (県土木部工事)	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	現場代理人不在の間の緊急連絡先	氏名	
		連絡先	
②兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
	発注機関の連絡先		
③兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
	発注機関の連絡先		
工事現場の相互の 距離・移動時間	①-②	km	分
	①-③	km	分
	②-③	km	分

○添付書類：兼任する他の工事の当初契約書（写し）（※契約前の工事については後日提出）

○兼任する他の工事について、兼任の承認を受けていることがわかる書類の写しを後日提出すること

工 事 名 :	
工 事 場 所 :	
請 負 者 名 :	
現場代理人氏名:	

※1 廃棄物の品目毎に作成すること。

2 収集業者と運搬業者、中間処理業者と最終処分業者が異なる等の場合は、適宜項目を追加し作成すること。

3 E票が処分業者より返送されていない場合は、直近に返送された管理票の確認日を備考欄に記載すること。

「認定証」サンプル

第4号様式（第6条関係）

認定番号 鹿リ認第 号

かごしま認定リサイクル製品認定証

製品名：RC-40
(品目：土木建築関係製品)

製造者：株式会社

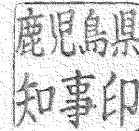
所在地

法人代表者 代表取締役

上記の製品は、かごしま認定リサイクル製品認定制度実施要綱第6条により認定された製品であることを証する。

令和元年10月7日

鹿児島県知事 三反園 訓



認定の年月日	令和元年10月7日
認定の有効期限	令和7年3月31日
製造事業所及び所在地	
製品の原材料となる産業廃棄物の種類	がれき類
配合の比率	コンクリート塊100%
審査に用いた品質基準	鹿児島県土木工事共通仕様書（「第2編材料編 第2章土木工事材料 第3節骨材 2-2-3-3アスファルト舗装用骨材」及び「第3編土木工事共通編 第2章一般施工 第6節一般舗装工 3-2-6-3アスファルト舗装の材料」の再生碎石及び下層路盤材の適合条件）
主な用途	路盤材、基礎材、裏込材、埋戻材
その他	認定リサイクル製品の製造・加工の工程については、鹿児島県のホームページ及び一般社団法人鹿児島県産業資源循環協会のホームページにおいて掲載

【認定制度担当部署】
鹿児島県環境林務部
廃棄物・リサイクル対策課
(リサイクル推進係)

(受領書記載例)

令和〇年〇〇月〇〇日

(搬出元)

株式会社 ○〇〇建設
〇〇 〇〇 殿

(搬出先)

●●●●●処分場
代表取締役 ●● ●●●

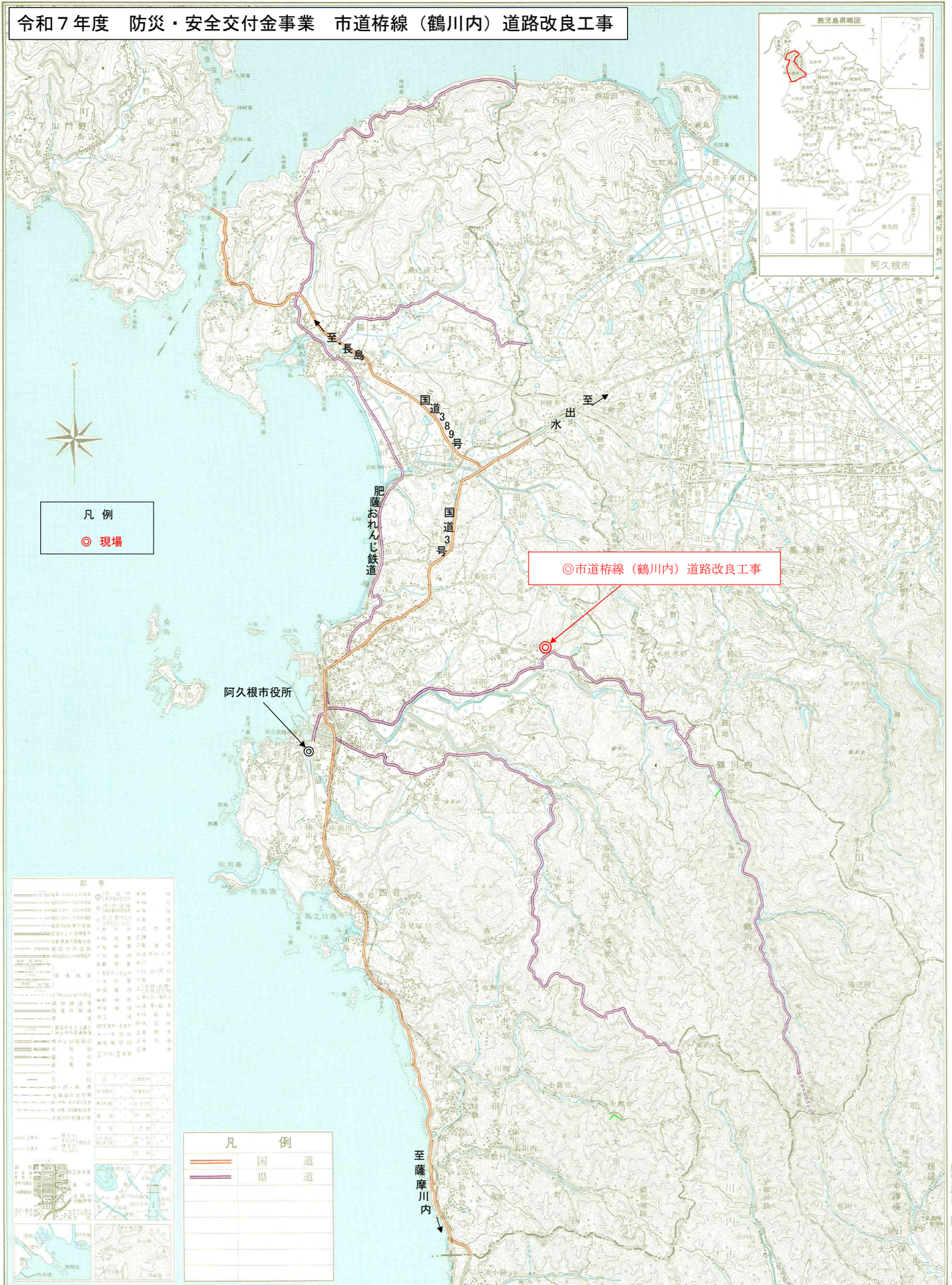
建設発生土受領書

- 搬出先の名称及び所在地 : ●●●●●処分場
鹿児島県●●●市〇〇〇町〇〇番地●地内
- 搬出先の管理者の商号, 名称 : 株式会社 ○〇〇〇〇
- 搬出元の名称及び所在地 : 道路改築工事 (●●工区)
鹿児島県●●●市〇〇〇町〇〇番地●地内
- 土砂の搬出量 : 第1種建設発生土 約〇〇,〇〇〇m³
- 搬入が完了した日 : 令和〇年〇〇月〇〇日

阿久根市全図

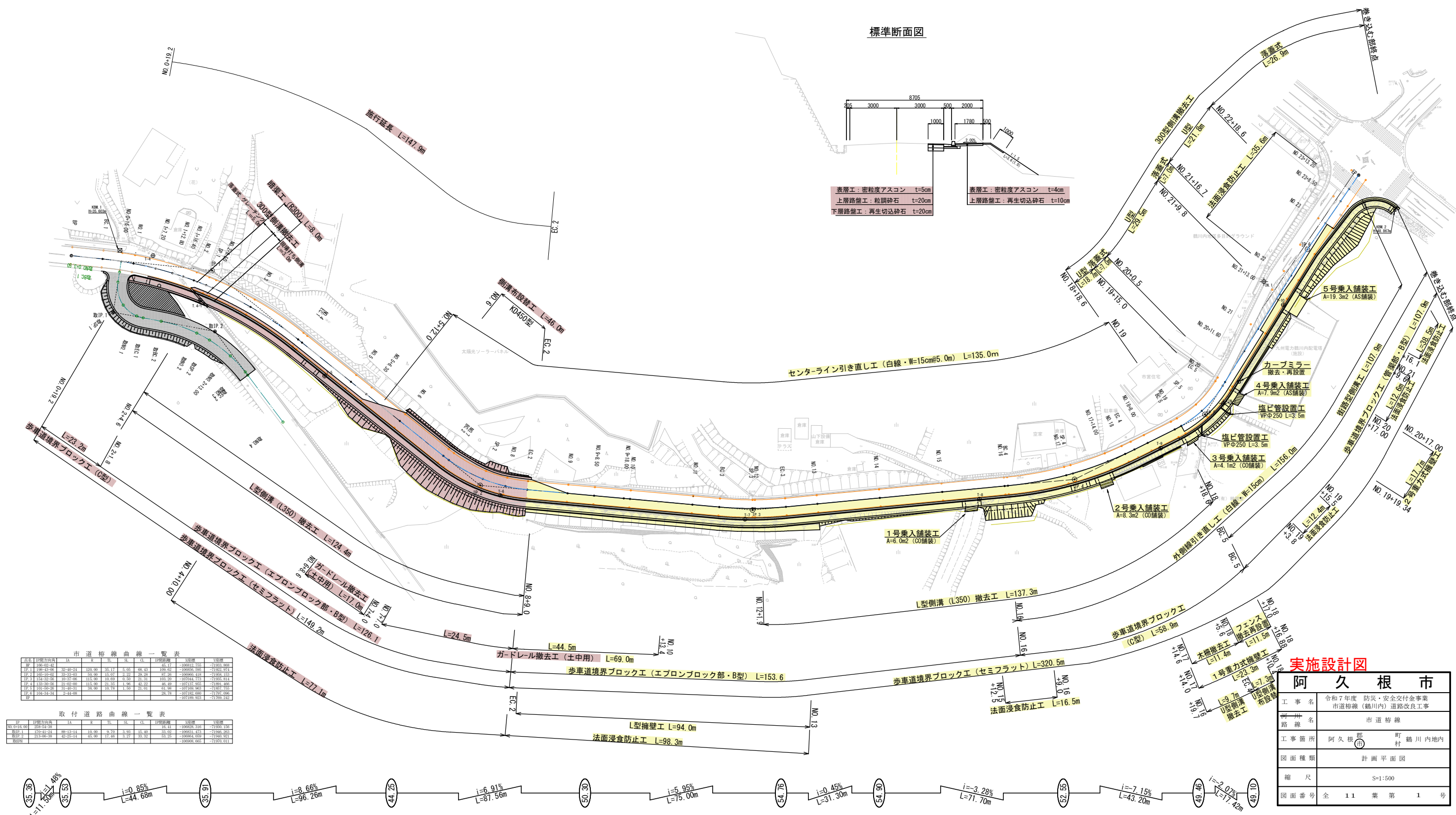
1 : 50,000 地形図

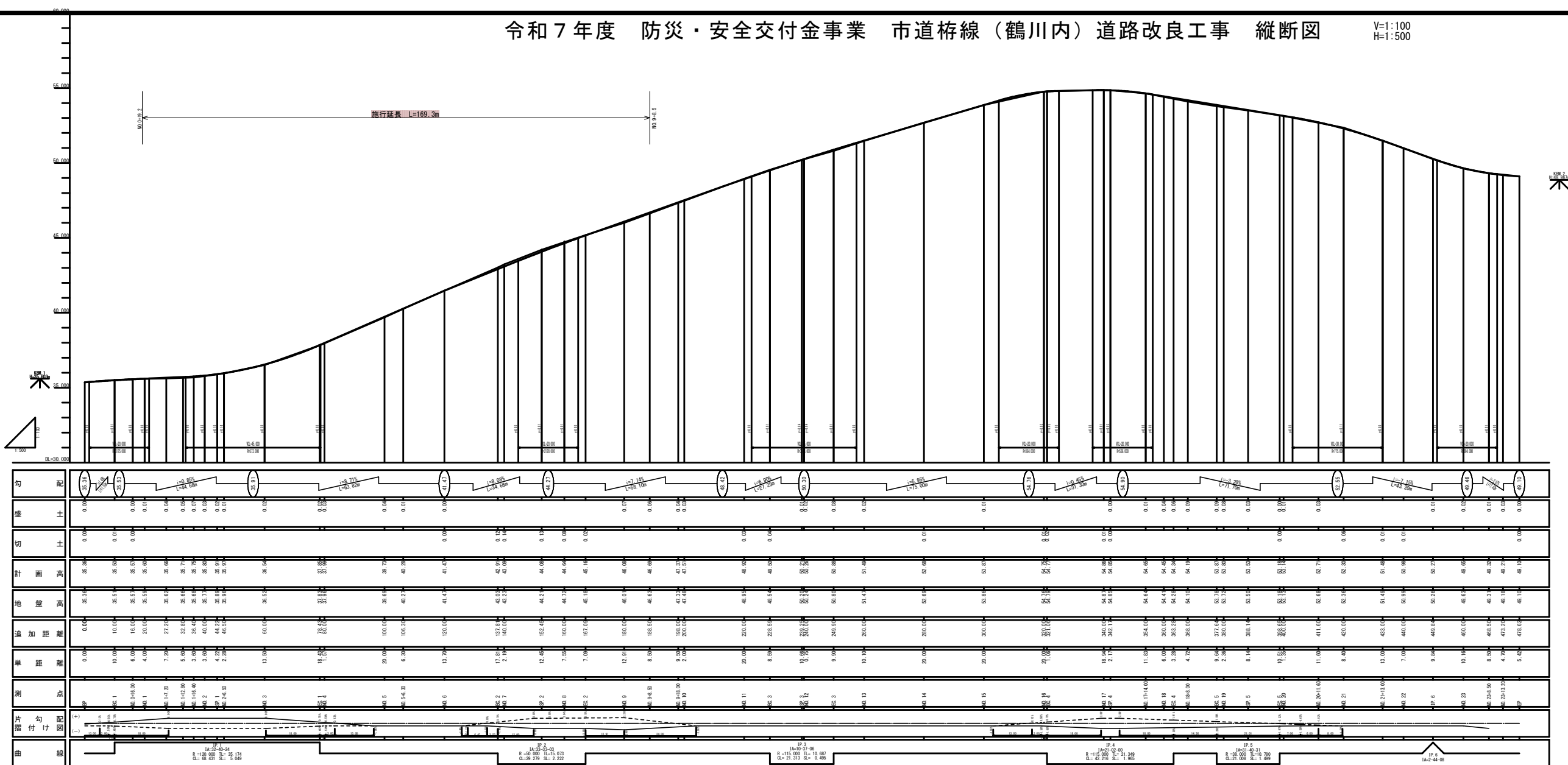
令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柵線（鶴川内）道路改良工事



この地図は、建設省国土院院長の承認を得て、院院発行の5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平九院、第 430 号）

令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柊線（鶴川内）道路改良工事 平面図 S=1:500





阿久根市	
工事名	令和7年度 防災・安全交付金事業 市道橋(鶴川)内 道路改良工事
路線名	市道 橋
工事箇所	阿久根市 町 鶴川 内内地内
図面種類	縦断面
縮尺	Ⅴ:1=100 Ⅱ:1=500
図面番号	全 11 葉 第 22 号

[illegible]

NO.0+16.0	普通土	岩			
取	人力切掘				
	片切掘削				
	オーブ	0.5			
床	人力				
掘	幅 < 2				
	幅 > 2				
	A≧4				
	B≧4, W/4				
	C≧1/5 (4/8)				
	D≧1/6 (4/8)	0.1			
	転圧土				
盛	土	幅1	1~2	5	4/8
路	表土				
路	表土				
敷	客土	客土	土	土	合計
法	整形	切			盛
防	草対策	切			盛
法	面工	切			盛
		車道	路側	歩道	側溝
表	掘工	0.407			1.325
土	下層掘工	0.407			1.323
下	層掘工	0.407			
路	床整形	0.407			合計 0.1
筑床	舗装施工	1.792			

NO.1	普通土	岩
人切効 片切効	0.4	
オーブ ン		
機 A重<2 B重>2		
A重≥4 B重≥4重(4 C)S重(4重(C) D)重(4重(D)	0.1	
転圧なし		
面	土	1~2.5 2.5~4 4~6
路 面		
段外	表土	客土 土留土
		合計
法面 断面形	切	盛
断面形	切	盛
法面	土	盛
	車道	踏切 歩道 耐水
上層層工	0.33	1.33
基層層工	0.33	1.33
下層層工	0.33	
路床整形	0.33	基礎
7727舗装破砕	0.73	

実施設計図

$$P \sim N(0, 1)$$

阿久根市	
工事名	令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柵線 (鶴川内) 道路改良工事
河州路線名	市道柵線
工事箇所	阿久根郡 町 市 鶴川内地区
図面種類	横断図1/6 (BP~NO.1)
縮尺	S=1:100
図面番号	全 11 葉 第 3 号

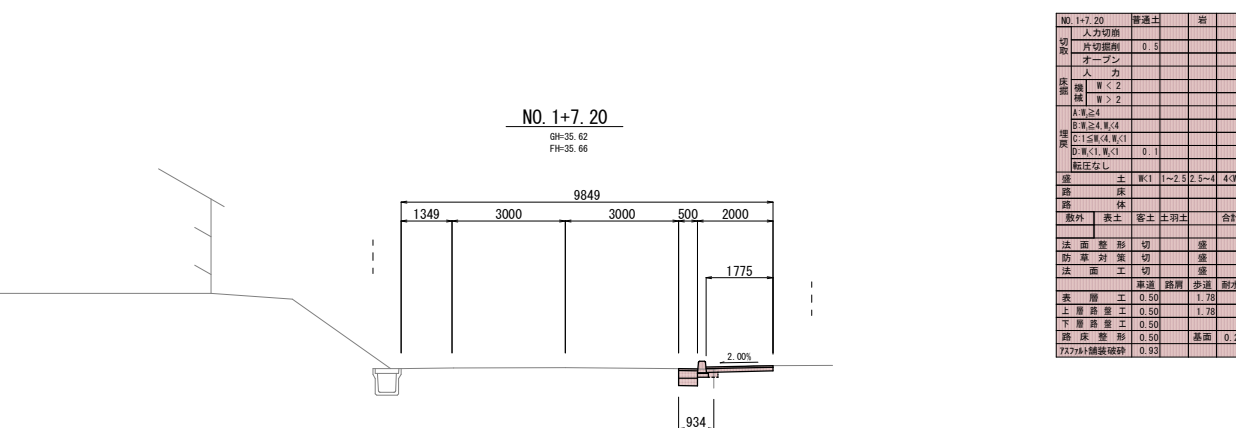
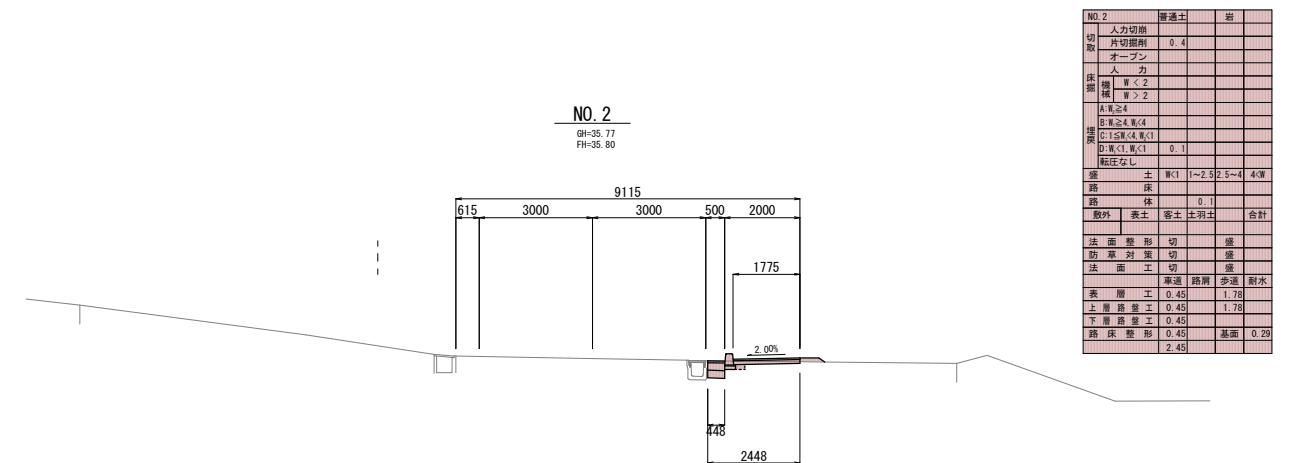
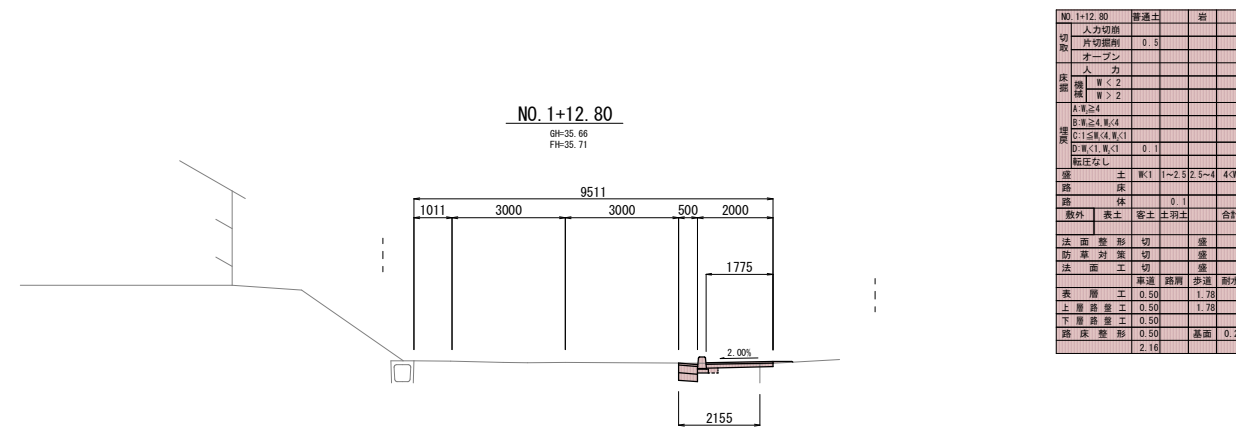
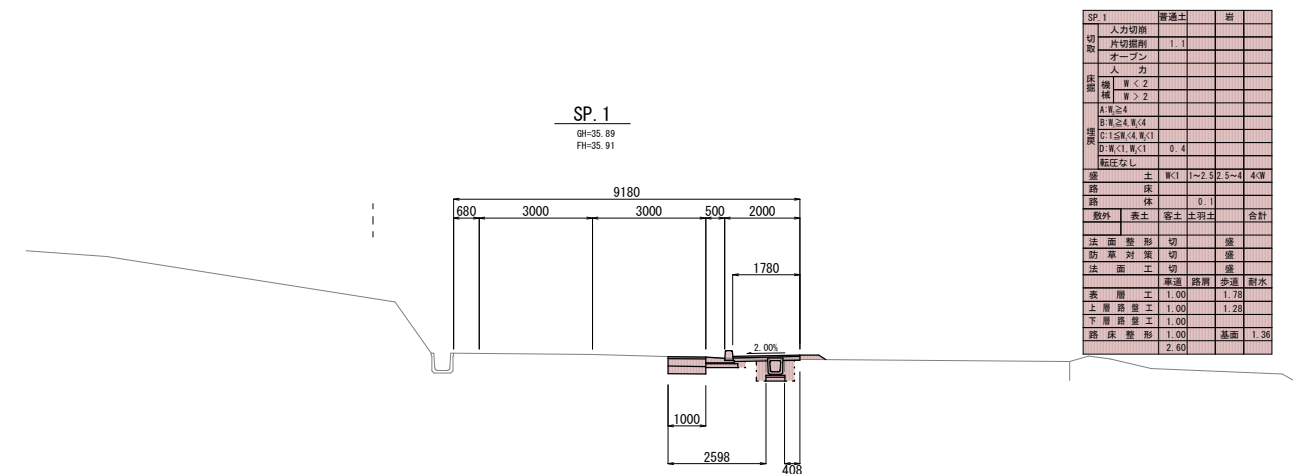
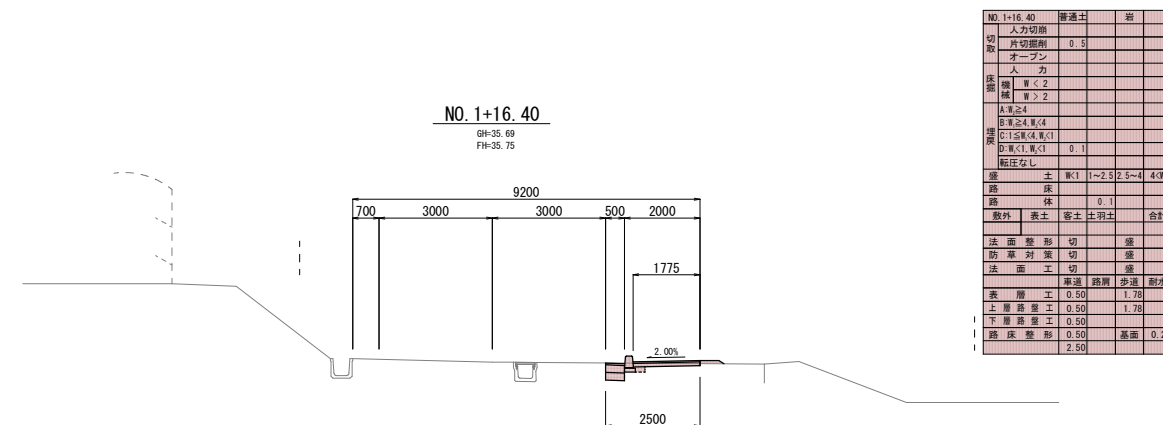
凡例

官民境界

用地買収

※〇〇はセンターからの距離

令和 7 年度 防災・安全交付金事業 市道柗線（鶴川内）道路改良工事 横断図2/6 S=1:100

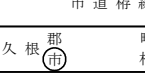


凡例

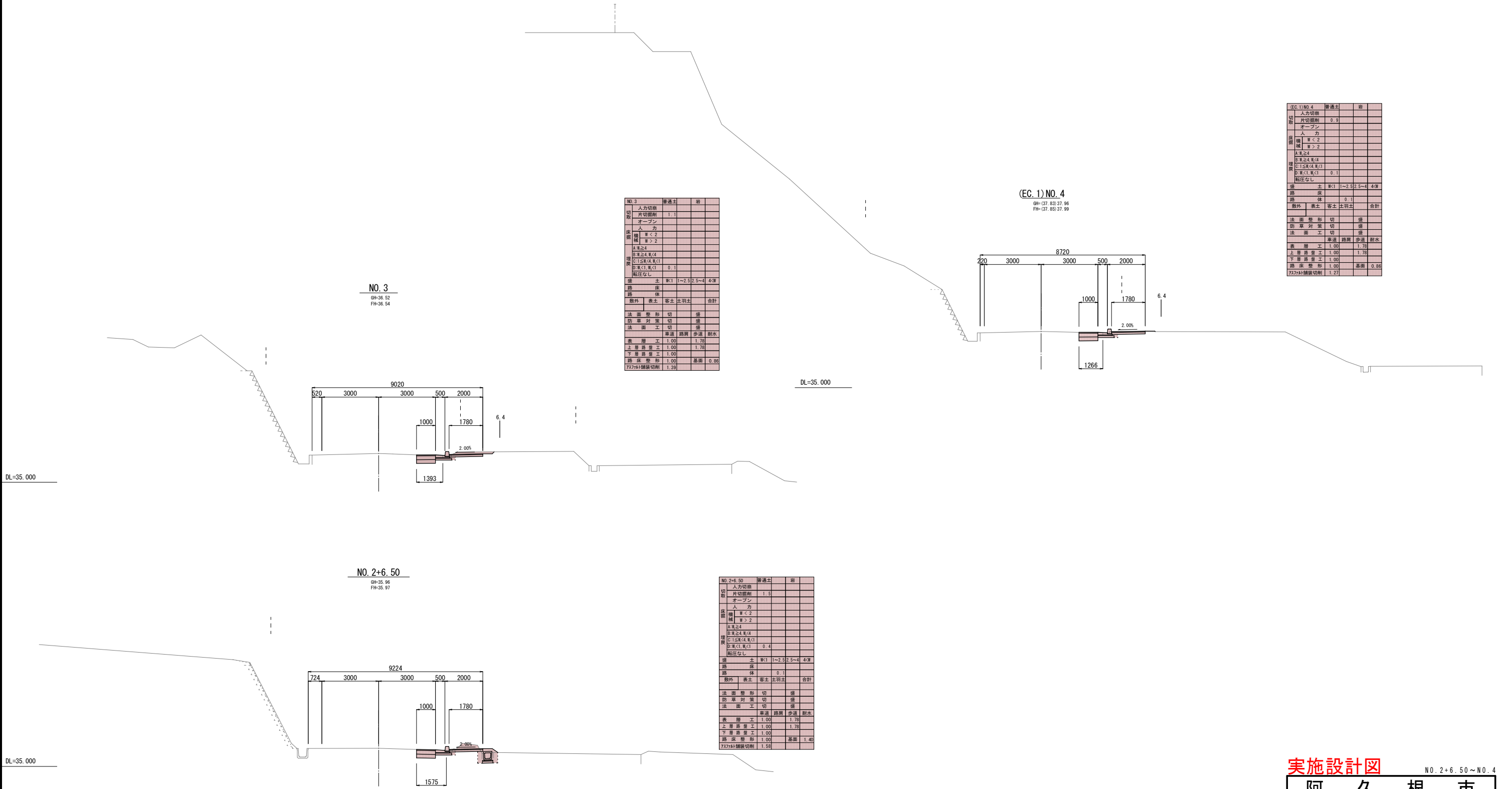
官民境界

用地買收

※〇〇はセンターからの距離

実施設計図		NO. 1+7.20~SP.1	
阿久根市			
工事名	令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柵線（鶴川内）道路改良工事		
河川 路線名	市道柵線		
工事箇所	阿久根市 町 鶴川内 地内 		
図面種類	横断面図/2 (NO. 1+7.20~SP.1)		
縮尺	S=1:100		
図面番号	全 11 葉 第 4 号		

令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柗線（鶴川内）道路改良工事 横断図3/6 S=1:100



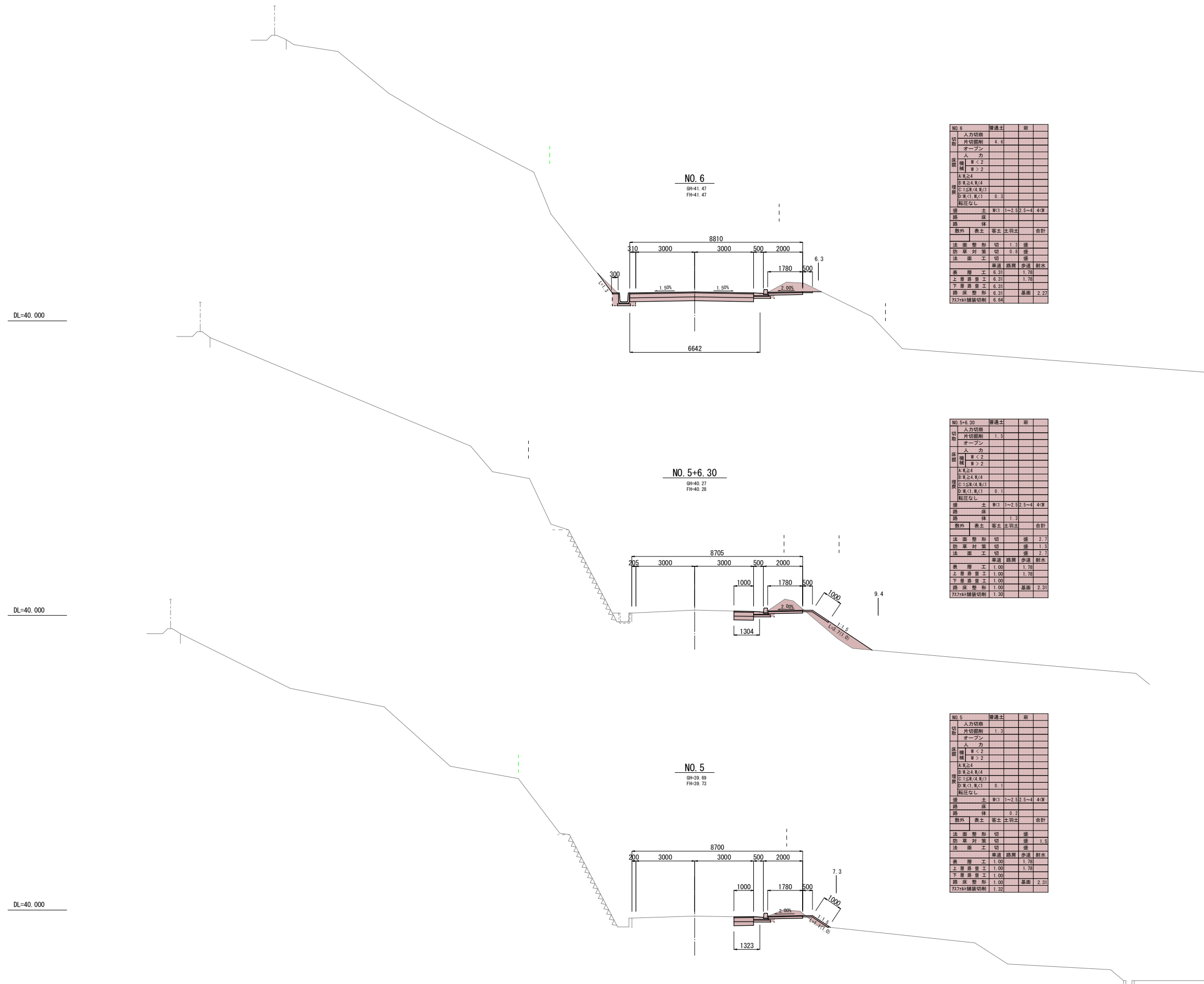
実施設計図 NO. 2+6.50~NO. 4

阿久根市	
工事名	令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柗線（鶴川内）道路改良工事
市道路線名	市道柗線
工事箇所	阿久根市 町 鶴川内地区
図面種類	横断図3/6 (NO. 2+6.50~NO. 4)
縮尺	S=1:100
図面番号	全 11 葉 第 5 号

凡例
--- 官民境界
○ 用地買収

※○はセンターからの距離

令和 7 年度 防災・安全交付金事業 市道柗線（鶴川内）道路改良工事 横断図4/6 S=1:100

[illegible]

No.56	普通土		留
切取	人力切掘 片切掘機 1.5 オーブン		
探査	人力 掘機 重く2 掘機 重く2		
基礎	A.重さ4 B.重さ4.4重(4 C.15重(4.4重(1 D.1重,重(1 既圧なし		
土	土庫	1~2.5	2.5~4
路	土	1.3	
散外	表土	密土	土留土
法	面	整	切
防	草	形	切
法	面	土	密
	車道	路肩	歩道
土	1.00	1.78	
上	1.00	1.78	
土	1.00	1.78	
路	1.00		
基	1.30		
722切掘機切			

NO.5		普通土		留
切取	人力切掘 片切掘削 オープン	1	3	
注消	人　力 機	■×2 ●×2		
埋戻	A重、B4 B重、C4、D4 C1重、C4、C1 D重、C1、D重 転圧なし	0.1		
土	土	1	2	5
砕	土	0.2	4	4
砕		0.2		
散外	表土	客土	土留土	合
法	面　整　形	切	盛	
防草	草　土	踏	歩道	封
車道	車道	路肩	歩道	封
土	土	1.00	1.78	
上層路肩	土	1.00	1.78	
下層路肩	土	1.00	1.78	
基礎	基礎	1.00	1.78	2
722ノ植樹立切羽		1.30		

凡例

官民境界

用地買収

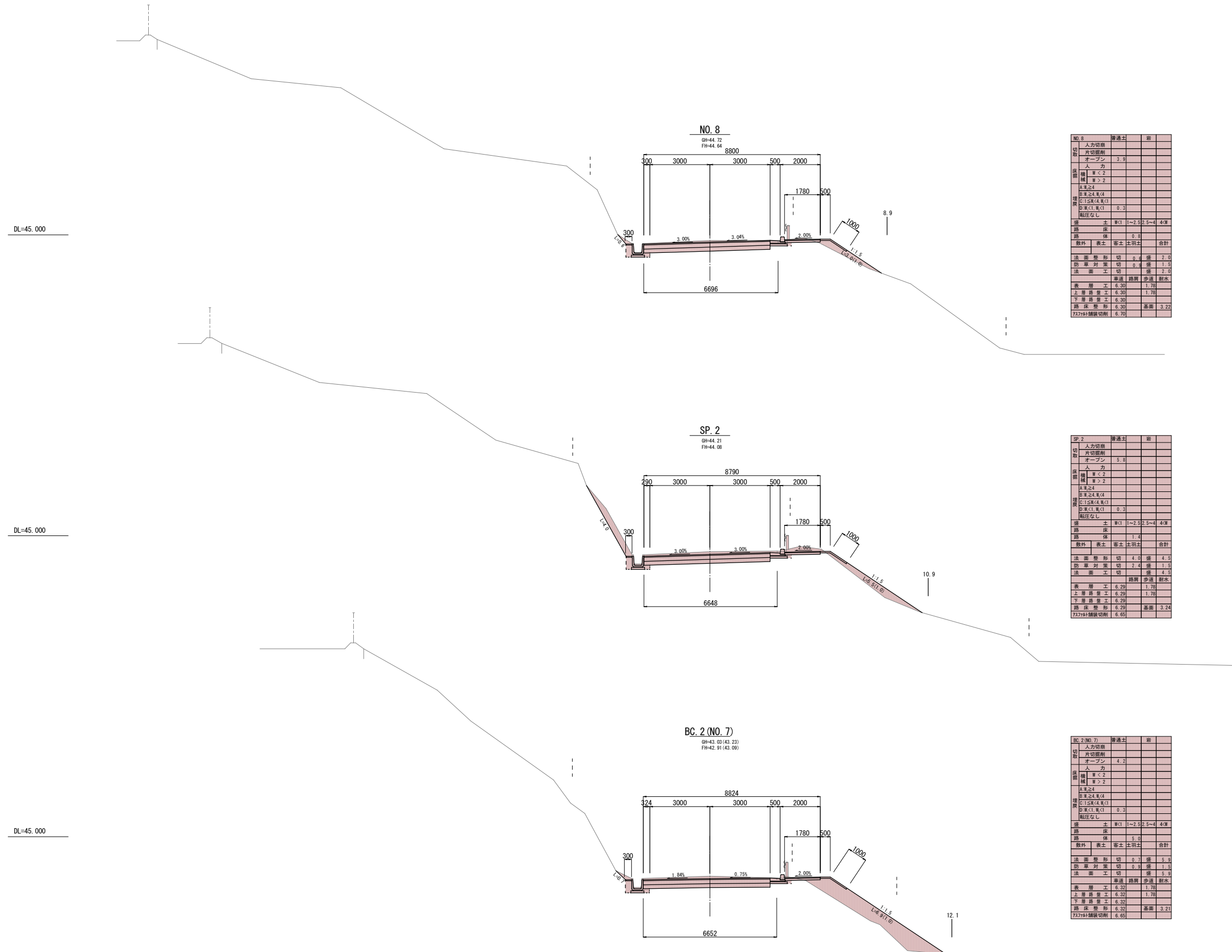
※〇〇はセンターからの距離

実施設計図

NO. 5~NO. 6

阿久根市	
工 事 名	令和7年度 防災・安全交付金事業 市道椋線（鶴川内）道路改良工事
河 州 路 線 名	市 道 椋 線
工 事 箇 所	阿久根 郡 町 鶴川内地区 市
図 面 種 類	横断図4/6 (NO.5~NO.6)
縮 尺	S=1:100
図 面 番 号	全 1 1 葉 第 6 号

令和 7 年度 防災・安全交付金事業 市道柵線（鶴川内）道路改良工事 横断図5/6 S=1:100



NO.	普通土	岩
人力切削		
片切掘削		
オーブン	3.9	
人		
W < 2		
続 W < 2		
A 3.5 ± 4		
B 3.5 ± 4.4		
C 1.5 ± 4.4 (1)		
D 0.5 ± 1.5 (1)	0.3	
転圧		
土 W < 1	1~2.5	4~8
床		
土		
路	0.8	
敷外	露土	合計
法	切	0.6
防	切	0.6
法	切	0.6
車道	歩道	排水
表層	6.30	1.78
下層	6.30	1.78
下層	6.30	
床	6.30	3.2
アクリル舗装切削	6.70	

SP2		普通土		岩	
切筋	人力切筋				
	片切掘削				
床掘	オープン	5.8			
	人力				
圧搾	機重 $\times 2$				
	W $\times 2$				
	A $\times 2.4$				
	B $\times 2.4$ A $\times 4$				
	C $\times 1.8$ A $\times 1$				
圧搾	D $\times 1$ W $\times 1$	0.3			
	圧縮圧入				
掘土	土	W $\times 1$	1~2.5	5~4	4~8
	岩				
路	表土		1.4		
	硬土				
散佈	客土		土留土		合計
法面	切	4	0	座	4
	削	2	4	座	1
法面	切			座	4
表掘	土	6.29		1.78	
	土層掘削	6.29		1.78	
路床	整平	6.29			
	整平	6.29			
路床	整平	6.29		基礎	3.2
		6.65			

BC 2 (NO. 7)	普通士	人		
切取	人力切	人力切		
	片切捌割			
	オープン	4.2		
採掘	人力			
	機	機 < 2		
		機 > 2		
採集	A 車 < 4			
	B 車 < 4, M (4)			
	C (1) 車 < 4, M (1)			
	D 車 < 1, M (1)	0.3		
	軽圧仕上			
掘	土	M (1)	1~2.5	4~8
掘	土			
掘	表土		5	0
散外	客土	客土	土質士	合計
法面	整形	切	0.7	面
防草	防草	切	0.8	面
面	土	切		面
	土	車道	路側	歩道
表層	層工	6.32		1.78
上層	層工	6.32		1.78
下層	層工	6.32		
底層	層工	6.32		
7727	基礎	6.65		基礎

凡例

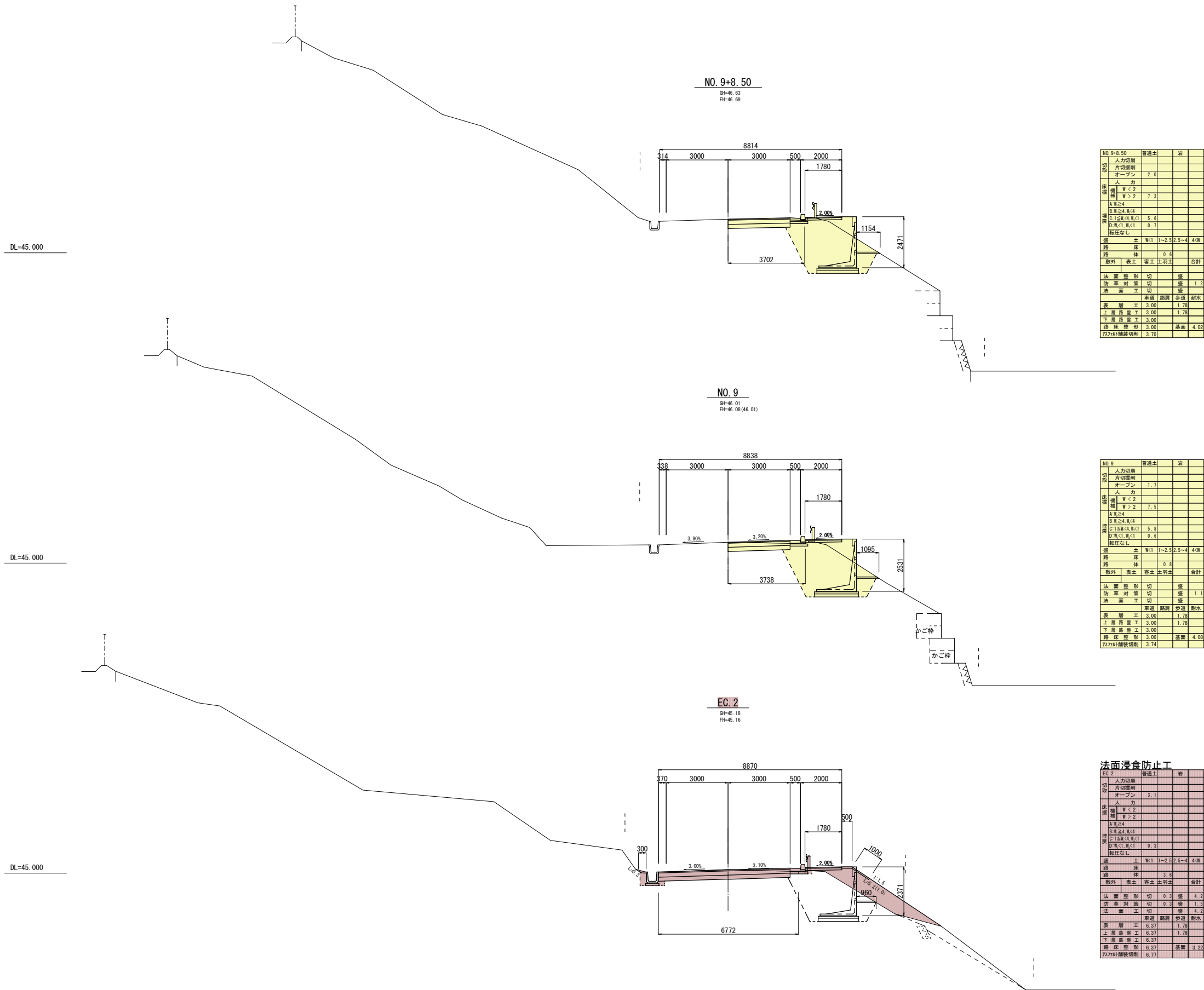
--- 官民境界

○ ○
| 用地買収

※○○はセンターからの距離

実施設計図		BC. 2~NO. 8
阿久根市		
工 事 名	令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柵線（鶴川内）道路改良工事	
河 川 名	市 道 柵 線	
工 事 箇 所	阿久根市 町 鶴川内地区 (市 村)	
図 面 種 類	横断面5/6 (BC. 2~NO. 8)	
縮 尺	S=1:100	
図 面 番 号	全 1 1 葉 第 7 号	

令和 7 年度 防災・安全交付金事業 市道柗線（鶴川内）道路改良工事 横断図6/6 S=1:100



NO. 9+8.50		普通土	岩
切	人力切削		
削	片切掘削		
	オープン	2.0	
人	力		
床	厚 < 2		
層	厚 > 2	7.3	
基	A. 厚 ≥ 4		
層	B. 厚 ≥ 4, 厚 < 4		
	C. 1.5 厚 < 4, 厚 < 1	5.8	
	D. 厚 < 1, 厚 < 1	0.7	
	転圧なし		
道	土	厚 < 1	1~2.0 2.5~4 4 以上
路	床		
路	体	0.0	
費外	表土	客土	土羽土
			合計
法	面	整	形
防	草	対	策
法	面	工	切
		道	歩道
表	層	工	3.00
上	層	整	工
下	層	整	工
路	床	整	形
ア	ス	パ	ット

NO. 9		普通土	岩
切	人力切削		
削	片切掘削		
	オープン	1.7	
人	力		
床	厚 < 2		
層	厚 > 2	7.9	
基	A. 厚 ≥ 4		
層	B. 厚 ≥ 4, 厚 < 4		
	C. 1.5 厚 < 4, 厚 < 1	5.8	
	D. 厚 < 1, 厚 < 1	0.6	
	転圧なし		
道	土	厚 < 1	1~2.0 2.5~4 4 以上
路	床		
路	体	0.0	
費外	表土	客土	土羽土
			合計
法	面	整	形
防	草	対	策
法	面	工	切
		道	歩道
表	層	工	3.00
上	層	整	工
下	層	整	工
路	床	整	形
ア	ス	パ	ット

EC. 2		普通土	岩
切	人力切削		
削	片切掘削		
	オープン	3.1	
人	力		
床	厚 < 2		
層	厚 > 2		
基	A. 厚 ≥ 4		
層	B. 厚 ≥ 4, 厚 < 4		
	C. 1.5 厚 < 4, 厚 < 1	0.3	
	D. 厚 < 1, 厚 < 1	0.3	
	転圧なし		
道	土	厚 < 1	1~2.0 2.5~4 4 以上
路	床		
路	体	3.6	
費外	表土	客土	土羽土
			合計
法	面	整	形
防	草	対	策
法	面	工	切
		道	歩道
表	層	工	6.37
上	層	整	工
下	層	整	工
路	床	整	形
ア	ス	パ	ット

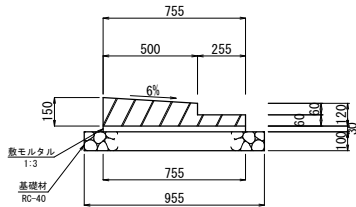
凡例
官民境界
用地買収
※〇〇はセンターからの距離

実施設計図		EC. 2~NO. 9+8.5
阿久根市		
工 事 名	令和 7 年度 防災・安全交付金事業 市道柗線（鶴川内）道路改良工事	
市 道 名	市 道 柗 線	
工 事 箇 所	阿 久 根 市	鶴 川 内 地 内
図 面 種 類	横断図6/6 (EC. 2~NO. 9+8.5)	
縮 尺	S=1:100	
図 面 番 号	全 11 葉 第 8 号	

令和 7 年度 防災・安全交付金事業 市道柵線（鶴川内）道路改良工事 構造図1/3

エプロンブロック標準断面図

D型 S=1:20

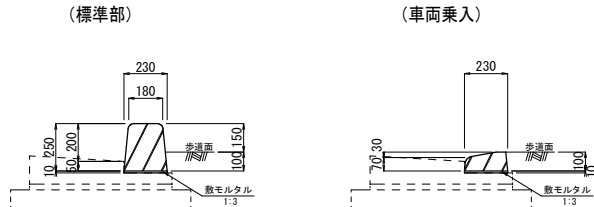


エプロンブロック（D型）材料表

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
基礎材	t=100mm	0.955×126.06	120.39	m ²
敷モルタル	1:3	$0.030 \times 0.755 \times 126.06$	2.86	m ³
躯体	D型	$120 \times 500 \times 2000$ W=391kg	126.06	m

歩車道境界ブロック標準断面図及び基礎工

B型 エプロンブロック型・両面R S=1:20

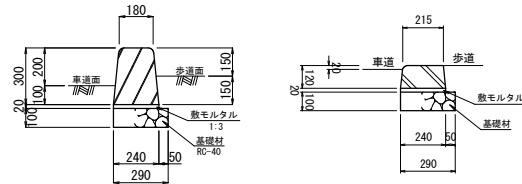


歩車道境界ブロック材料表（エプロンブロック型）

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
標準部	歩車道境界ブロック 標準部 B型 両面R	L=2000 W=231kg/個	109.06	m
敷モルタル	1:3	$0.23 \times 0.01 \times 109.06$	0.25	m ³
車両乗入	歩車道境界ブロック 車両乗入	L=600 W=28kg/個	4.00	m
敷モルタル	1:3	$0.23 \times 0.01 \times 4.00$	0.01	m ³

歩車道境界ブロック標準断面図

C型 標準部・両面R S=1:20

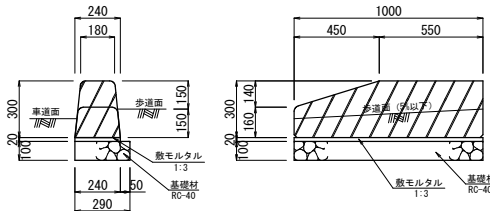


歩車道境界ブロック材料表（C型）

	名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
標準部	基 礎 材	t=100mm	0.29×17.00	4.93	m2
	敷モルタル	1:3	$0.24 \times 0.02 \times 17.00$	0.08	m3
	躯 体	C型 両面R	L=2000 W=284kg/個	17.00	m
歩道乗入部	基 礎 材	t=100mm	0.29×3.15	0.91	m2
	敷モルタル	1:3	$0.24 \times 0.02 \times 3.15$	0.02	m3
	躯 体	C型 両面R	L=600 W=35kg/個	3.15	m

歩車道境界ブロック標準断面図

C型 摺付部 S=1:20

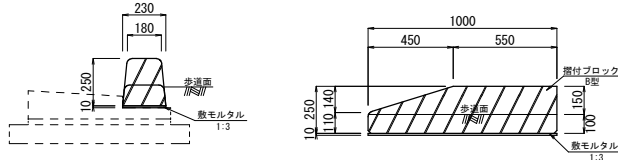


材料表（C型 摺付部）

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
躯体	標準部 C型 摺付部	L=1.00m W=129kg/個	1.00	m
基礎材	t=100mm	0.29×1.00	0.29	m ²
敷モルタル	1:3	$0.02 \times 0.24 \times 1.00$	0.005	m ³

歩車道境界ブロック標準断面図

B型 摺付部 S=1:20

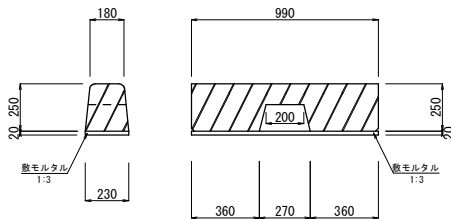


材料表（B型 摺付部）

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
躯体	標準部 B型 摺付部	L=1.00m W=102kg/個	2.00	m
敷モルタル	1:3	$0.01 \times 0.23 \times 2.00$	0.005	m ³

歩車道境界ブロック標準断面図

B型 排水ブロック・両面R S=1:20

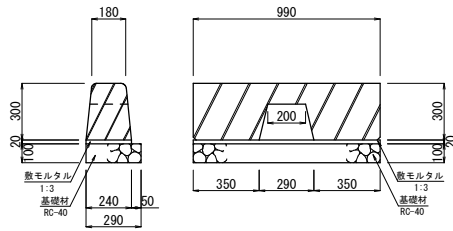


材料表（B型 排水ブロック）

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
躯体	標準部 B型 摺付部	L=0.99m W=118kg/個	11.00	m
敷モルタル		$0.23 \times 0.02 \times 11.00$	0.05	m ³

歩車道境界ブロック標準断面図

C型 排水ブロック・両面R S=1:20

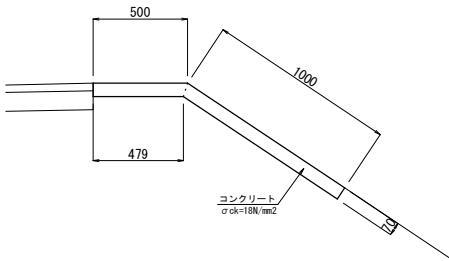


材料表（C型 排水ブロック）

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
躯体	標準部 C型 摺付部	L=0.99m W=118kg/個	2.00	m
基礎材	t=100mm	0.29×2.00	0.58	m ²
敷モルタル		$0.24 \times 0.02 \times 2.00$	0.01	m ³

盛土法面对策工

（防草・浸食） S=1:20

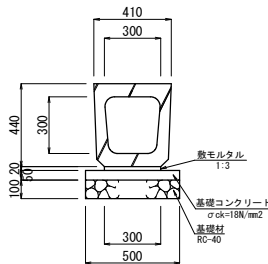


材料表（盛土法面对策工）

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	92.1×0.07 ※土坪計算書にて算出	6.45	m ³
目地材	エラストイト t=10mm	$((0.50+0.479)/2 \times 0.07+1.00 \times 0.07) \times 9$	0.94	m ²
型 枠	掛 料	$((0.50+0.479)/2+1.00) \times 0.07 \times 2+0.07 \times 87.1$	6.31	m ²

横断暗渠工 S=1:20

R型 300×300

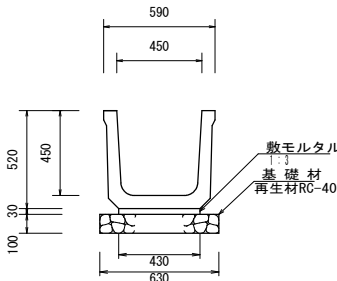


材料表（300×300）

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
躯体		$300 \times 300 \times 2000$ W=432kg	8.00	m
基礎材	t=100mm	0.50×8.00	4.00	m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.50 \times 0.05 \times 8.00$	0.20	m ³
同上型枠		$0.05 \times 8.00 \times 2$	0.80	m ²
敷モルタル	1:3	$0.30 \times 0.02 \times 8.00$	0.05	m ³

側溝布設替工 S=1:20

再利用撤去・再設置 KD 450×450

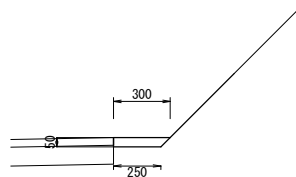


材料表（450×450）

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
躯体		$450 \times 450 \times 2000$	46.0	m
基礎材	t=100mm	0.63×46.0	29.0	m ²
敷モルタル	1:3	$0.30 \times 0.43 \times 46.0$	5.9	m ³

切土法面对策工

（防草・浸食） S=1:20



材料表（切土法面对策工）

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	59.9×0.05 ※土坪計算書にて算出	3.00	m ³
目地材	エラストイト t=10mm	$((0.30+0.25)/2 \times 0.05) \times 6$	0.08	m ²
型 枠	掛 料	$((0.30+0.25)/2) \times 0.05+0.05 \times 60.8$	3.05	m ²

実施設計図

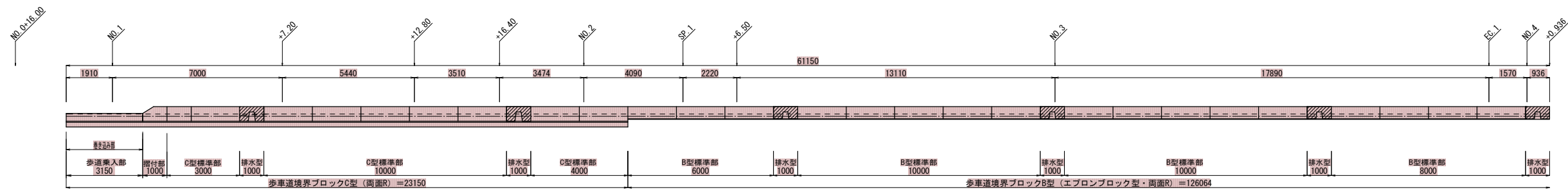
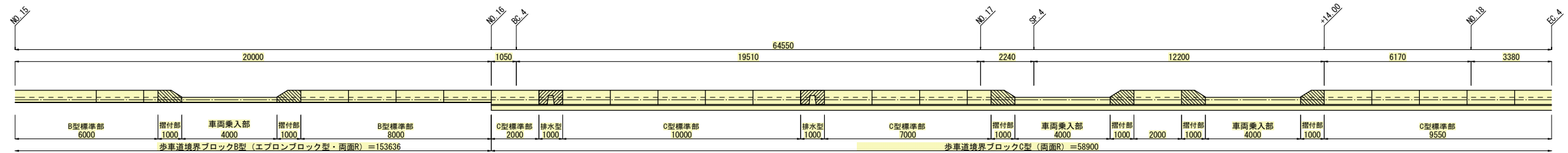
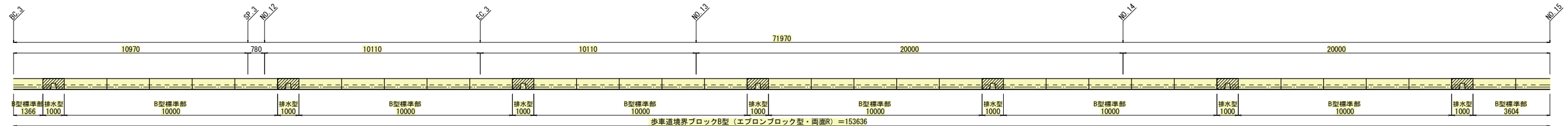
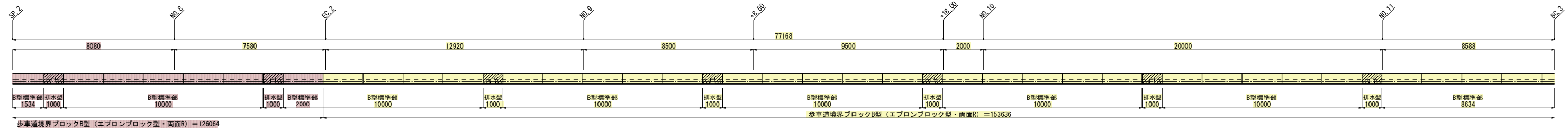
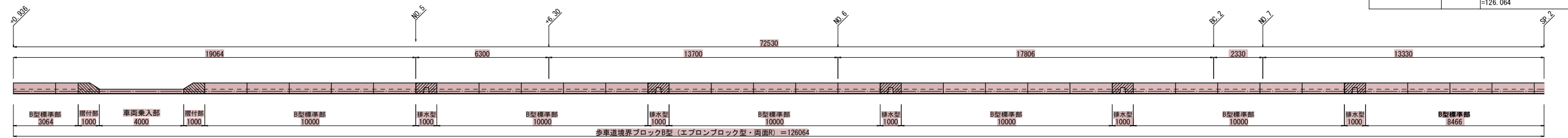
阿久根市

工 事 名	令和 7 年度 防災・安全交付金事業 市道柵線（鶴川内）道路改良工事
市 道 柵 線 名	市 道 柵 線
工 事 箇 所	阿 久 根 市 鶴 川 内 地 内
図 面 種 類	構造図1/3（側溝類・歩車道境界ブロック）
縮 尺	各図参照
図 面 番 号	全 11 葉 第 9 号

令和 7 年度 防災・安全交付金事業 市道柗線（鶴川内）道路改良工事 構造図2/3

右側歩車道境界ブロック展開図

V=1:50 H=1:100

[illegible]

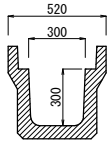
実施設計図

阿久根市	
工事名	令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柗線（鶴川）道路改良工事
河川 路線名	市道 柗線
工事箇所	阿久根 ^郡 _市 町 鶴川 内地内
図面種類	構造図2/3（歩車道境界ブロック展開図1）
縮尺	各図参照
図面番号	全 11 葉 第 10 号

令和 7 年度 防災・安全交付金事業 市道柵線（鶴川内）道路改良工事 構造図3/3

落蓋式側溝撤去工

300×300 S=1:20



落蓋式側溝撤去数量表（有筋）		1.0式当り	
名称	摘要	数量	単位
躯体コンクリート	有筋	0.45	m3
グレーチング	5枚	5.00	m
殻処理		0.45	m3
撤去延長		5.00	m

※CAD計測により算出。
0.09 m

L型側溝撤去工

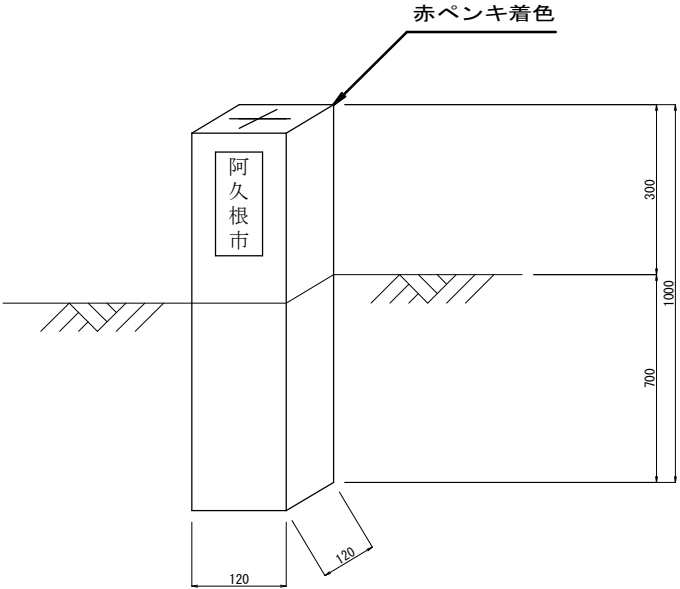
L350 S=1:20



L型側溝撤去数量表（有筋）		1.0式当り	
名称	摘要	数量	単位
躯体コンクリート	有筋	4.98	m3
殻処理		4.98	m3
撤去延長		124.4	m

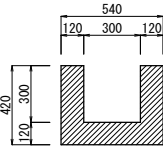
※CAD計測により算出。
0.04 m

境界杭



現場打ち側溝撤去工

300×300 S=1:20



現場打ち側溝撤去数量表（無筋）		1.0式当り	
名称	摘要	数量	単位
躯体コンクリート	無筋	0.42	m3
殻処理		0.42	m3
撤去延長		3.00	m

※CAD計測により算出。
0.14 m

実施設計図

阿久根市	
工事名	令和7年度 防災・安全交付金事業 市道柵線（鶴川内）道路改良工事
市道柵線名	市道柵線
工事箇所	阿久根郡 町 鶴川内地内
図面種類	構造図3/3（撤去工・境界杭）
縮尺	各図参照
図面番号	全 11 葉 第 11 号